



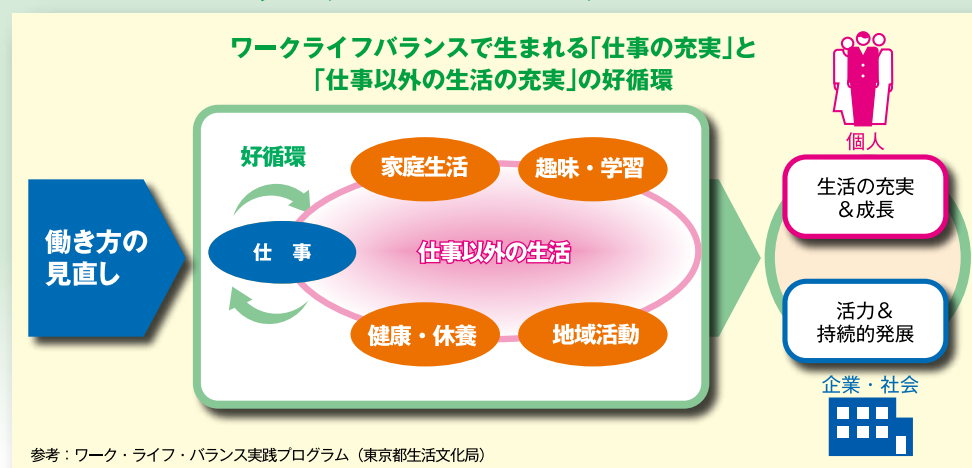
ファミリーデー事例集

従業員家族の
職場訪問

東京都は、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を
推進しています。

仕事中心の生活で、子育てや家族と過ごす時間がおろそかになっていませんか？

ワークライフバランスとは



ワークライフバランスとは、「仕事」と、子育てや親の介護、地域活動等の「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実していることをいいます。

その実現のためには、これまでの働き方を見直すことや、時間の使い方などの自己管理を行うことがポイントになります。

ワークライフバランスが実現すると、個人は、子どもと過ごす時間が増えたり、地域活動や趣味、自己啓発等に取り組むことができたりすることで、仕事以外の生活の満足度がアップし、日々の生活が充実します。さらに生活にメリハリがつくことで、仕事に対するモチベーションも向上します。同時に企業は、社員の力を十分に引き出して、持続的に発展することができ、社会全体にも活力が生まれます。

このようにワークライフバランスの実現は、「仕事の充実」と「仕事以外の生活の充実」の好循環を生み出します。

今こそ、企業も従業員もライフスタイルや働き方について考え、ワークライフバランスを実践していきましょう。

はじめに

わが国では急速に少子化が進んでおり、1人の女性が一生に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は低水準で推移しています。このままでは、日本の人口は50年後に3割減少するとの推計もあり、少子化が社会経済に深刻な影響を与えることが懸念されます。しかしながら、出産前後の女性の離職率の高さや子育て世代の男性の労働時間の長さなど、出産・子育てと仕事の両立が困難な状況が続いており、働く人のワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現し、安心して子どもを産み育てられる環境を作ることが求められています。

このため、東京都は3年間で集中的に取り組む「『少子化打破』緊急対策事業」を平成22年度から実施いたしました。これは、保育、医療、住宅、雇用など様々な分野にわたり一丸となって少子化に取り組むもので、その中で、雇用分野で取り組む施策として、「『東京しごとの日』事業」*を実施し、従業員の家族の職場訪問「ファミリーデー」を促進しました。

この事例集は、ファミリーデーを実施した企業の事例をご紹介します。ファミリーデーを通して「働きやすい・家族を大切にす職場の雰囲気づくり」に取り組む企業の人事労務担当者や経営者の皆様にご活用いただければ幸いです。

*「東京しごとの日」事業とは、企業・従業員とその家族をはじめ、社会全体で生活と仕事のあり方について考え、実践する日として、企業等と連携した取組を集中的に行い、広く社会に発信することで、ワークライフバランス推進に向けた社会的気運を醸成する事業です。

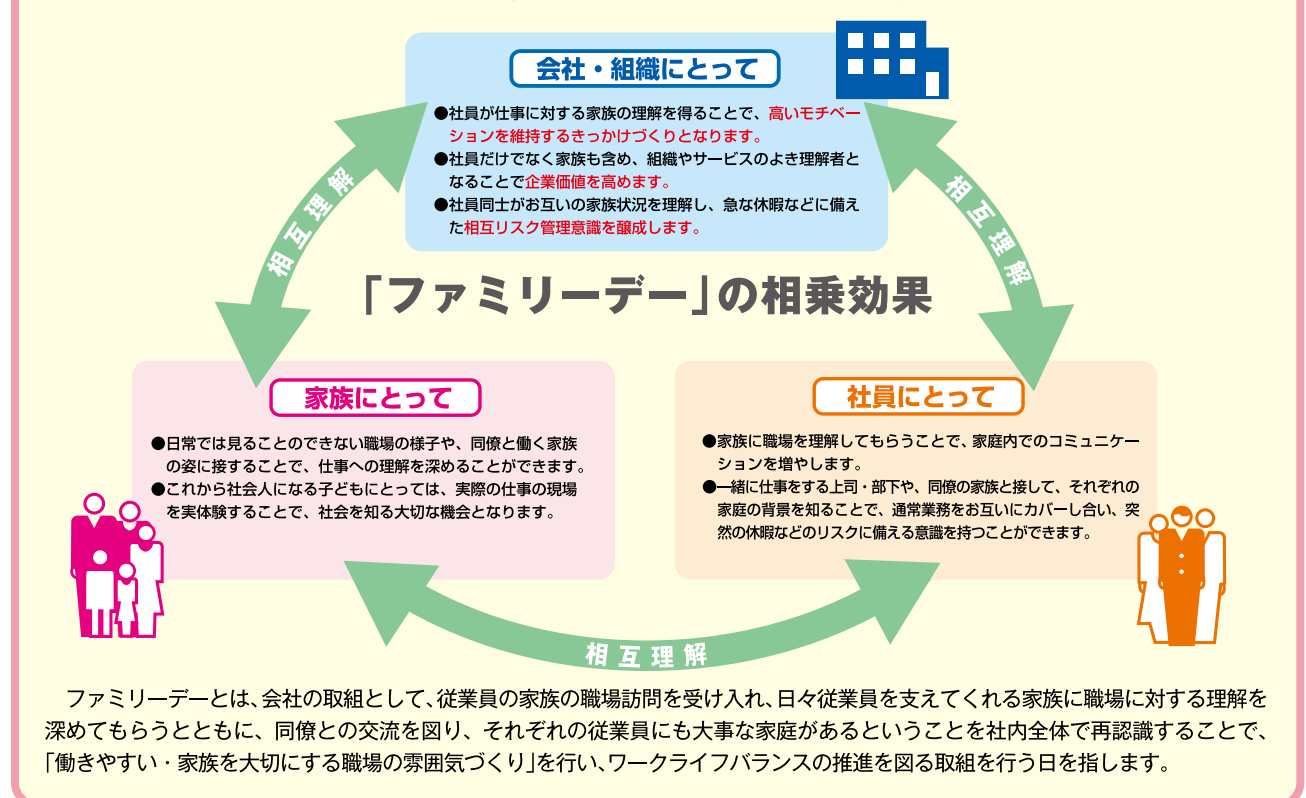
平成25年1月

東京都産業労働局

FD 目次

ワークライフバランスとは・ファミリーデーについて	1
取材レポート	
「子育て世代の応援」という理念をファミリーデーで実践 ライフネット生命保険株式会社	2
無邪気な子供たちの声がオフィス中を笑顔に 清水化学工業株式会社	4
介護現場の理解も進んだファミリーデー 社会福祉法人悠遊	6
ファミリーデーの効果 ～企業経営、職場、従業員の視点から～ 株式会社ワーク・ライフバランス 松久 晃士 氏	8
ファミリーデーを開催しましょう！	10
平成24年度「東京しごとの日」ファミリーデー実施企業座談会	12
ファミリーデー実施企業事例紹介	17
アンケート結果・データ集	35
ファミリーデー実施企業一覧	40

ファミリーデーについて



ライフネット生命保険株式会社

「子育て世代の応援」という理念をファミリーデーで実践

残暑厳しい8月23日、すでに毎年の恒例行事となった「ライフネット・ファミリーDAY」を開催したのは、独立系のインターネット生命保険会社・ライフネット生命保険株式会社（千代田区）。開業5年目の会社とあって参加する社員の平均年齢も若く、ベビーカーを押しながらの参加も目立ちました。

同社内にあるカフェスペース「サマルカンド」に集合したのは14家族、計38名。子供たちは縦横無尽に走り回るなどフロアは朝から大賑わい。そんな賑やかな雰囲気の中、予定通り10時30分にファミリーデーはスタート。まずは司会を務めるスタッフが本日の流れを説明し、そして社長の出口治明さんを含めた役員挨拶に移ります。

「今日はお父さんやお母さんが、普段どんなところで働いているのか、どんな仲間がいるのか、よく見て帰ってください。みなさんが支えてくれているおかげで、我々スタッフは元気に働けているのです。いつも感謝しています。今日は十分楽しんで帰って」

【当日のスケジュール】

- 10:30 集合
- 11:00 役員挨拶
- 11:10 副社長から会社紹介プレゼン
- 11:30 社内ツアー
- 12:15 ランチ〜かき氷
- 14:00 解散

※家族が参加した従業員は終了後に家族と共に退社



てください」（出口社長）

役員の挨拶の後には、副社長の岩瀬大輔さんからの会社プレゼンテーションが始まります。

「ライフネット生命がどんな会社なの



▲代表取締役社長 出口治明さん

か、頑張つて説明したいと思います」スクリーンにスライドを映し、子供たちにもわかりやすく、やさしく噛み砕いた言葉を使つてのプレゼンテーション。スライドにはファミリーデーに参加している社員も多数写真出演しているので、自分の親が大画面に映し出された子供は大喜び。笑いを交えることで、子供たちも集中を切らすことなく、最後までスクリーンを見つめ続けることができました。

集合写真を撮影した後は、社内見学及び名刺交換会のために、家族が普段働くフロアに大移動。そこでは先程挨拶した出口社長が先回りして出迎えます。名刺を持って次々に訪れる可愛い訪問者たちに、出口社長も終始ニコニコ顔。連続参加の子供



▲子供たちが叶えたい夢を貼りました

たちとは、1年ぶりの再会を楽しみました。出口社長はライフネット生命保険が、このような形でワークライフバランスを重視することは当然のことだと語ります。「今20代や30代の人の所得が低い。これこそが少子化の根本原因です。我が社は、インターネットを使って保険料を安く提供することで、安心して子供を作ってもらおうという目的で設立しました。でも、そんな会社の子供を作りづらい環境だったら、誰も信賴してくれませんか？ですから我が社としては、普段からワークライフバランスの実現には力を入

れています。それと、このイベントには情報公開という意味合いもあります。お父さん、お母さん、旦那さん、奥さんがこつこつとした場所で、こつこつた仲間と働いていることをわかってもらえていれば、仕事に対する理解も深まりますし、何より安心していただけるのではないのでしょうか」

社内見学の後は、カフェスペースに戻つて夢の短冊作り。子供たちはシールに叶えたい夢を書いて、木が描かれた紙の上に貼っていきます。

「本物の木を用意して、そこに短冊のように吊つてもらおうと思ったのですが、さすがに生木は難しかったので絵にしました（笑）。子供たちが書いた夢は、バケツいっぱいいるプリンが食べたい、くらの、叶えられそうな夢だったら、後日、サブライズで叶えてあげようという企画もあるんですよ」

そう語るのはファミリーデーの企画担当者、企画部の川越あゆみさん。3年前の第1回ファミリー



▲企画部 川越あゆみさん



▲シンボルマークの描かれたパン

デーも彼女の発案から始まりました。「前職で家族を呼ぶイベントがあり、仕事をするための環境作りにとっても良い効果があると感じていたんです。ですから社長の出口に伝えたら、いいじゃない。やってみたら」ということで私が企画担当に（笑）。ファミリーデーは今年で3年目。3分の1は初参加の方たちと、毎年確実に参加者は増えています。ジワジワとですが、社内が少しずつまとまっていつているような、そんな実感はあります」

夢を書いたシールを貼り終わった後は、いよいよ待望のランチタイム。サンドウィッチなどと一緒に、ライフネット生命のシンボルマークが描かれた大きなパンも登場しました。

今年で3回目の参加という、お客様サービス部の片田薫さんは、ご主人と2歳のお嬢さんを連れての参加。

「働きながら子育てしていると、突然休まなければならなくなったりと、他の方に迷惑をかけてしまうこともあるんです。でもそれはお互い様でもあります。お互いに同僚の家族の顔が浮かべば、そういう気遣いも自然とできますし、そういう意味でもこつこつとしたイベントはとても意味のあることだと思っています」

同じく3回目の参加というシステム部の名代敏之さんは、ファミリーデーに参加したことで、家庭でのコミュニケーションが円滑になったといいます。

「家に帰って仕事の話を話すときに、〇〇さんと□□したよ、って話しますよね。でも、こつこつと家族が私の同僚と実際に顔を合わせて、話をしたりしていれば理解度が全然違います。それはとても感じますね」当日は運営チームとしてファミリーデーに携わったシステム部の平栗萌さんは、数ヶ月前に結婚したばかりとのこと。

「みなさんがご家族同士、楽しそうに触れ合っているのを見ると、私もい

つかは夫を連れてきたいと思っていますね。こつこつた家族の方たちに支えられているというバックボーンを知ること、社員同士の接し方とか協力の仕方とかが変わってくると思っています。思いやる気持ちをもっと増すのではないのでしょうか」

常連も、そして初めての参加者も、そのほとんどが、働きやすさへの効果を口にする同社の「ライフネット・ファミリーDAY」。「仕事と子育ての両立を応援する」という企業理念を、同社が率先して実現し社会を変える。そんな意義の伝わる素晴らしいファミリーデーとなりました。



▲集合写真



清水化学工業株式会社

無邪気な子供たちの声がオフィス中を笑顔に

8月13日、お盆休みの月曜日にファミリーデーを実施したのは、ポリエチレン製のショッピングバッグやレジ袋、ゴミ袋などを製造する清水化学工業株式会社（足立区）。企画・担当者の経理総務部の照屋壮仁さんは、「ようやく実施できました」と笑顔で話してくれました。

「ファミリーデーのことは、2年くらい前に知りました。『東京しごとの日』ホームページで実施事例なども読ませていただいて、これはすごくいいなあ。構想から実施まで2年かかったの実施です。初めは社内でも『面倒くさい』などという声もありましたが、従業員同士が家族の顔を知る機会なんてあまりありませんし、従業員同士のコミュニケーションも円滑になるのではないかと思います。実施させていただくことにしました」

この日参加したのは照屋さんを含めた3家族。その中には現在育児休暇中の従業員の姿も。久しぶりの対面に、イベントはさながら同窓会のような、和やかな雰囲気包まれました。

【当日のスケジュール】

9:30	集合
9:40	挨拶 自己紹介 名刺交換会 常務取締役が挨拶
9:50	会社内見学 名刺交換・倉庫内見学
10:15	勉強会 ポリ製品のできるまで
10:45	子供たちによる社員取材
11:00	実技 上履き入れ& フルバッグ作成
12:00	解散

した。

イベントのスタートは、花井健司常務取締役のあいさつから。

「おはようございます。花井と申します。今日は暑い中ご苦労さま。今日はお父さんやお母さんがどんなお仕事をしているのかを勉強してお家に帰ってください」

子供たちもあらかじめ用意された名刺を花井常務に差し出し、照れくさそうにあいさつを返しました。

「森田桃菜です。よろしく願います」

そして次は社内見学を兼ねて、各部署の従業員全員とも名刺交換。先日、5年間の中国勤務から戻ってきた。

たばかりの営業部・石田貴義さんとの名刺交換の際には、簡単な中国語講座を受けることに。子供たちは興味深そうに、珍しい中国語の発音に耳を傾けていました。

「森田さんの『森』はセン、『田』はティエン。森田さんは中国語だとセンティエンさんです。中国語を話す人は世界中で20億人います。ですから英語と中国語を話すことができれば、世界中のほとんどの人とおしゃべりできるようになるんですよ。みなさんも、絶対に役に立ちますので、語学を頑張ってくださいね」

中国では、同僚とその家族を交えての食事や旅行は当たり前だという石田さん。家族同士が顔を合わせることでできるファミリーデーには、大賛成だと話してくれました。

「中国では仕事ももちろんですが、家族をとっても大事にする文化があります。日本に帰ってきてまだ日が浅いですが、こちらでも同僚同士が親密に付き合うきっかけになるような、こういったイベントがあるのは大歓迎です。」



▲育児休業中の森田さん▲

た森田さやかさんも、子供に職場を見せてあげることがずっと望んでいたと言います。

「一度自分の働いているところを見せてあげたいと思っていましたし、娘もどんなところで働いているのか興味があつたみたいなので、こういう機会を与えてもらって、とても嬉しいです。同僚の家族の顔を知ること、相手を思いやる気持ちが自然と湧いてくるということはあると思います。子供が病気やケガのときに、仕事を代わってあげたりということも、心からしてあげられるようになるでしょうね。来年や再来年はもっと沢山の人が参加してもらって、みんなの家族にも会いたいですね」

照屋さんからの簡単なあいさつを最後に、本日のプログラムはすべて終了。自分たちで作ったビニールバッグを、大切そうにリュックにしまつ子供たちの姿が実に印象的でした。

「突然の取材タイムという、いい意味でのサプライズもあってとても充実したイベントになったと思います。」

迎ですね。子供たちにとっても、親がどんな仕事をしているのかを理解するということも大切なことですしね」

従業員との名刺交換を済まし、倉庫の見学を終えた後は、再びオフィスへ。ここで突然子供たちが「お仕事の話を聞きたい」と、従業員への取材タイムがスタートしました。この突然のプログラム変更には、担当者の照屋さんも少し驚いたものの、子供たちの積極的な姿勢は大歓迎と、柔軟な対応でプログラムの微調整を測ります。

取材対象は営業部の田口輝さん。「どんな仕事をしてるんですか？」「大



▲突撃質問開始！

子供たち同士も初対面なのにすぐに打ち解けて、あの垣根の低さにはビックリですね(笑)。小さい子供を持つ従業員はまだまだいますので、今日のノウハウを来年、再来年と蓄積していって、後々には従業員全員が参加できるような、もっともっと大きなイベントにしていけたらと思います」

初めてのファミリーデーに反省点も多いと言う照屋さんですが、子供たちの笑顔や協力的な従業員たちの姿に、確実な手応えも感じた様子。今回実施したファミリーデーが、ワークライフバランスの実現に積極的な同社にとって、働きやすい環境づくりのさらなる加速のための、新たな一歩となることでしょう。



▲集合写真



▲真剣に話を聞いています

変なことはなんですか？」突然の質問攻撃に、多少タジタジになりながらも、「営業といつてね、お客さんにうちで作ったものを買ってもらう仕事をしています」と、子供たちにわかりやすく説明していました。

子供たちの訪問でいっになく賑やかなオフィスの奥から、その光景を見つめる花井常務。今回の試みに対する期待感を、次のように話してくれました。

「毎朝会社に行くお父さんやお母さんを見て、仕事を頑張ってくれていることはわかっていても、実際に何をやっているのかまではわからない。ですから、こうやって家族を会社に招いて、どんな仕事をしているのかを知ってもらおうというのはとても良

いアイデアだと思います。それに同僚同士が家族の顔を知ること、お互い助け合おうという気持ちも強くなる。それがさらに仕事の効率アップにも繋がっていくと、企業にとっても良い事です。今後は子供だけでなく、奥さんや旦那さんなんかも呼んで、より仕事の内容を理解してもらえば、さらに従業員にとって働きやすい環境になるかもしれませんね」

そしてメインイベントは、子供たちが上履きやプール道具などを入れるためのビニールバッグの手作り体験。ポリエチレンの素材をカッターと定規を使って慎重にカットし、袋状にしてシール機で綴じ、穴を開けて紐を通す。作業の中の子供たちの表情は真剣そのもの。何度かの失敗を繰り返しながら、オリジナル手作りの出来栄に、子供たちも誇らしげです。

「ババって、結構楽しい仕事してるんだね(笑)」

照屋さんの長女・空見ちゃんの無邪気な感想に、大きな笑い声が広がりました。

現在育児休暇中で、ファミリーデー参加のために久しぶりの出社となつ

悠遊

社会福祉法人悠遊

介護現場の理解も進んだファミリーデー

8月22日にファミリーデーを実施したのは、デイサービス及びグループホーム施設を運営する社会福祉法人悠遊（西東京市）。参加したのは4人の職員とその家族9名の総勢13名。職員たちは普段通りの業務を行い、家族は介護の現場を見学・体験しながら働く姿を見るところ形式で行われました。同法人初のファミリーデーを企画したのは理事の伊藤隆志さん。普段から職員の子供たちが気軽に遊びに来る開放的な施設ですが、施設側から家族に呼びかけたのは今回が初めてのこと。

「夏休みに職員の子供たちが、暇だからという理由で遊びに来たり、中学や高校の職場体験で来てくれたりと、子供たちの顔は比較的知っているほうです。でも今回は職員の親御さんたちにも参加していただきました。親や子供の仕事がお年寄りのお世話話、ということとはなんとなくわかっていても、具体的なことまではイメージできてはいないと思うんです。ぜひご家族が働く介護の現場を見て

【当日のスケジュール】

10:00 集合
10:10 理事長挨拶
10:30 デイサービスいすみ
朝の会に参加
自己紹介
11:45 職場見学
12:00 昼食
13:00 質疑応答
13:15 解散



▲理事長の挨拶でスタート

仕事を理解するきっかけになればと思います、実施することになりました」

集合時間は午前10時。同法人の理事長 鈴木礼子さんからの挨拶でファミリーデーはスタートしました。



▲自己紹介を兼ねたゲーム大会

「職員のご家族の方に、彼らが元気に働いている姿を見ていただきたいと、ずっと思っていました。今日は短い時間ですが、働いている職員の姿はもちろんですが、施設の利用者のみなさんの元気な姿も見ていただいで、楽しんで帰っていただけたらと思います」

挨拶の後はデイサービス利用者が集まる「朝の会」に参加。ここでは自己紹介を兼ねた、簡単なゲーム大会が開かれました。

「こちらの女性は職員のお母さんです



▲利用者の方とのふれあいも

話してくれました。

「前々から仕事を家族に見て欲しいとはずっと思っていたんです。介護の仕事って大変というイメージが強いですが、実際にはみなさんこんなに明るくて元気。でもそれは実際に見てみないとわからないですからね。今日は私がどんな人たちに囲まれて、どんな仕事をしているのかを理解してもらおう、いきつけになったと思います。」

この4月に働き始めたばかりの小川陽香さんは、今回家族の参加はなかったものの、同僚の家族の顔を知ったことで、仕事を続けていけるという安心感が芽生えたといいます。「ここには、子供を育てながら働く女性職員がたくさんいます。そういう職員の方たちが、みなさんご家族



▲センター長小畑理恵子さん

がその家族を知ることができるこのようなイベントは、とても有意義だったと思います」

とも仲良くしながら仕事もしつかりこなしている。そんな姿を見ていると、この先、もし私に子供が出来たとしても、ずっとこの仕事を続けていくことができるんだということを実感しました。私の家族も職場を見てみたいって言うていましたし、来年はぜひ家族で参加したいと思っています。」

最後は参加家族とファミリーデーの実行スタッフ及び理事長を交えての昼食タイム。参加家族からの評判も上々ということで、鈴木理事長もホッとした表情でファミリーデーの感想を語ってくれました。

「お子さんや親御さんに何かあった場合、仕事を突然休むことになるのは仕方ありません。でもそういうときに、そのご家族の顔が浮かべば、いたわりの気持ちが自然に湧いてくるはず。そういう意味でも、職員同士がその家族を知ることができるこのようなイベントは、とても有意義だったと思います」



▲理事長鈴木礼子さん

ファミリーデー運営チームのひとり、事務局長の浅野正彦さんも、今回のイベントで感じたという、同僚や家族の顔を知ることの重要性について、こつ話してくれました。

「小さなお子さんがいるということは、もちろん情報としては知っていますが、実際に顔をすることで、この前会ったあの子が熱を出してしまったのか、と具体的にイメージできるようになりますよね。そうすることで、仕事の連携もスムーズになると思います。気持ちの問題かもしれませんが、実はそれが大事なんですよね。また、私は部下を見る立場でもあるのですが、ご家族の顔を知ったことで、仕事もちゃんと教えてあげないといけないという責任感が湧いて来ました」

ファミリーデーを企画した伊藤さん曰く、今回のテーマは職場の「居心地のよさ」をわかってもらいたい、ご家族の方に安心してもらうこと。その目的は十分に達成できたと話してくれました。



▲集合写真

「時間帯や仕事内容など、いろいろな働き方をしている職員がいますから、全てを理解してもらおうと思ったら難しいかもしれません。でもこういう空気、こういう時間の流れの中で働いているのかは知ってもらうことはできたのではないかと思います。次回にはさらに参加人数を増やして、介護の仕事が社会に対してどのような役割を果たしているのか、どのような価値がある仕事なのかという部分まで、よりご家族の方に理解していただけるような工夫をしていきたいと思っています。」

2回目、3回目への新たなビジョンが見えてきたという伊藤さん。来年度以降の同法人のファミリーデーは、職員の働きやすさや意欲の向上はもちろんのこと、介護業界全体を見据えた、広がりのあるイベントに成長していくことでしょう。

が、誰のお母さんでしょうか？わかる人！」

伊藤さんがお年寄りたちに語りかけると、利用者は職員の名前を答えたり、正解だと思っ職員を指さしたりなど積極的にクイズに参加。利用者たちの明るい雰囲気、少し緊張気味の参加家族もすぐにリラックスすることができたようです。

参加家族9名全員の紹介が済んだ後はメインの職場体験。この日は企画担当の伊藤さんの、2人の小さなお孫さんも参加。2人は24時間体制のグループホーム施設に向かい、その場にいる利用者全員と握手でスキップ。利用者たちも満面の笑みで、子供たちの手を握り返していました。

建物2階にあるデイサービス施設でも、参加した家族と利用者たちが和やかに会話を楽しむなど、約1時間の体験プログラムは、あっという間に過ぎて行きました。

母親がファミリーデーに参加したセンター長の小畑理恵子さんも、今

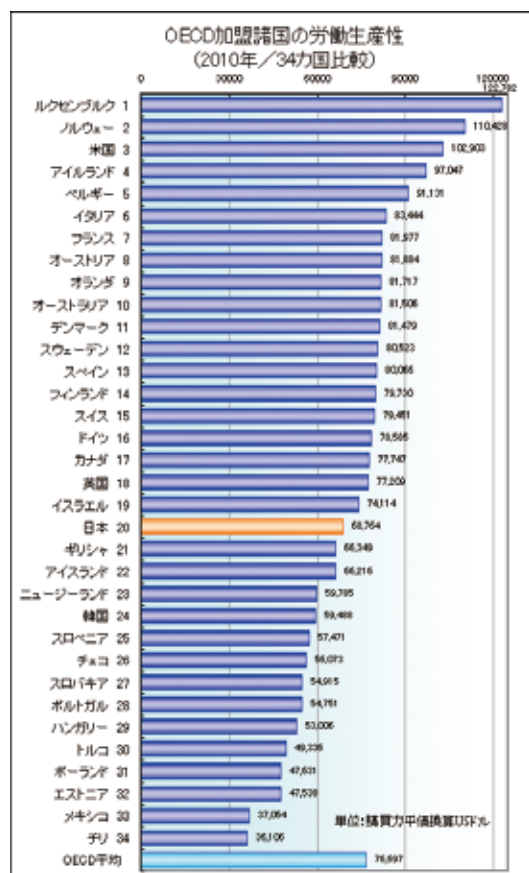
ファミリーデ어의効果 企業経営、職場、従業員の視点から

株式会社ワーク・ライフバランス 松久晃士

今、なぜワークライフ バランスなのか

今、日本は少子高齢化という大きな課題を抱えています。もし今のまま働き方を変えないと、女性が出産などの事情で仕事を辞めざるをえない状況が続き、日本は重要な労働力を失うことになりそうです。職場復帰できる企業で働く女性でも、育児のパートナーである男性の働き方が変わらなければ、孤独な育児に疲れ、二人目以降の出産に積極的になれないでしょう。今後、女性だけでなく男性も働き方を見直し、「産んで、かつ、働き続けられる国」を目指さなければならぬのです。

企業にとっては、労働力が減少するなかで、優秀な人材を早い段階でいかに多く獲得するか



が国際的な競争の中で存続を左右する大きなポイントとなります。また、2011年の調査では、日本の労働生産性はOECD加盟34カ国中第20位、主要先進7カ国中では最下位となっています。つまり、長時間働いてもその時間に見合った成果を生み出せていないのです。今後は育児だけでなく介護の問題などから、

ワークライフバランス推進のための ファミリーデ어

こうした課題の対応のために、一部の企業ではすでにワークライフバランスの施策の充実を積極的に進めています。そのような企業は社員の退職を防ぐとともに新規採用を有利にし、さらには今いる人材の能力を引き出す可能性を持つことに気づいています。

ワークライフバランスを進めるにあたって、ファミリーデ어は非常に良い取り組みです。職場や家庭でワークライフバランスについて語り合う機会が増え、従業員ひとりひとりが自然とワークライフバランスのことを意識することにより、働き方の見直しにつながり、ひいては組織全体で、どのような制約があっ

ても働きやすい風土を形成することができま

企業経営の視点からみたファミリーデ어의効果には、業務の効率化と優秀な人材の定着があります。家庭の背景を知ること

で、通常業務をお互いにカバーし合い、急な欠勤などのリスクに備える意識が生まれ、仕事の進め方を変えるきっかけになります。特に業務を誰にでもできるようにマニュアル化したり、共有したりすることで、業務の効率化につながり、経営的に大きな効果をもたらします。

また、若手社員は先輩たちがそれぞれの家庭環境にあわせた工夫をしながら、仕事と子育て

を両立している姿を直接見ることとて、子どもを産んでも働き続けられるという安心感を得ることができま

を見つめ直すきっかけになり、仕事の意欲向上につながるという効果もあります。

職場においては「おたがいさま」という発想が育まれる効果があります。子供が熱を出し、急に保育園に迎えに行く必要がある場合でも、ファミリーデ어를通して家庭の事情がわかっていれば、周りの同僚たちは自然と「あの子が苦しんでいるんだ、すぐに帰ってあげて」という気持ちになります。また、普段仕事では見られない「パパ」「ママ」の顔を見ることによって、従業員同士も相互理解が深まり、仕事

が円滑に進みます。さらに、ファミリーデー当日の子供たちの素直な反応や感想を聞き、自社の取り組みや業務の社会的な使命感をもう一度感じること



松久晃士

2005年トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社に入社。営業部門・マーケティング部門を経験。オフィス環境エコロジー化のための社内プロジェクトチームも兼任し、同社グループにおいて世界で最も優れたチームとして表彰される。2010年株式会社ワーク・ライフバランスに参画。「スピード経営」と称される前職のビジネス環境の中で身につけ、進化させた独自の仕事術は、ビジネス雑誌や経済番組などで取り上げられ大きな反響を呼ぶ。現在、これらのノウハウをワークライフバランス実現のため、クライアントに惜しみなく提供し、高い評価を得ている。

ファミリーデーを開催しよう！

ご家族が職場を訪問することで、職場理解や従業員同士との交流が深まり、相互理解を生むきっかけになります。

Let's Try!



step 1

企画立案

Ⅱ実施内容プログラムの検討

対象者年齢・人数に合わせてプログラムを作成しましょう。

Ⅰ対象参加者・日時の設定

自社従業員の
家族構成や年齢構成に応じて、
対象参加者・日時の設定を
行いましょう。

●対象参加者と受入れ人数の設定
(年齢や続柄など)
できれば多くの方に参加していただきたいところですが、安全確保を最優先に、対象参加者の設定を行いましょう。参加の応募が多数だったために、子供向け、大人向けなど、複数日に分散して開催する事例も見られます。



乳幼児が多い？



小中学生が多い？



何曜日？



パートナーや高齢者が多い？

am
or
pm ?

●開催日時の設定

お子様や高齢の方の参加を見込む場合は、職場までの移動時間にも配慮が必要です。また、ファミリーデーの開始時刻を始業時刻、終了時刻を休憩や終業時刻に合わせますと、ご家族揃っての通勤・退社やランチも可能となりますので、参加者からの評判も良いようです。

例 *作業体験や社内(工場)見学

体験活動やアトラクションを、出来る範囲で用意してみましょう。会社の業務に関連する商品や内容であれば、参加するご家族に、組織やサービスのより理解者になっていただく機会にもなります。(これまでの参加企業実施例)
◎工場での軽作業体験
◎社内見学の「一環としての」工場見学
◎PCを使ったデザイン体験
◎菓子作り など



作業体験

ご家族が「職場での上司・同僚との交流」ができるような企画をたてることをオススメします。普段の仕事をしている場所を見学し、同僚や上司、部下などにご家族を紹介することが、職場理解・従業員同士の相互理解を生むきっかけとなります。

●プログラム作成
企業が十社あれば、十通りのファミリーデーがあります。ファミリーデーに正解はありません。担当者一人で悩まずに、上司や同僚と相談しながらプログラム作成をしてみましょう。自社にあった企画とはどんなものでしょうか？ここではプログラムの一例を紹介します。



ポイント

通常業務への負担が大きくなり過ぎないように、「できること」を計画しましょう。「やり過ぎ」は禁物です。

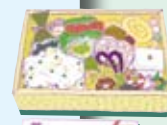
例 *参加者と職場の同僚(上司)の交流は必ず
きつかけを用意！
お子さまの参加者を対象に、模擬名刺を用意して同僚や上司との名刺交換の時間を設定すると、交流のきつかけとなります。また、社長との名刺交換・記念撮影も好評で、人気の高いプログラムのひとつです。(これまでの参加企業実施例)
◎模擬名刺の交換会
◎社員の顔写真とコメント掲示
◎参加者同士の自己紹介



名刺交換

例 *懇親会

ファミリーデーの機会を活用し、社外等で実施する懇親会を組み合わせる企業も見られます。



ポイント

step 2

参加者募集

プログラムの概要が
固まったら、
社内広報を行いましょう。

●各部署へ事前周知、協力依頼

部署により、取引先への配慮が必要となる可能性もあります。プログラム概要が決まり次第早めに周知する事が重要です。

●社内広報などによる参加者の募集

社内掲示板や社内報を活用してファミリーデー開催を告知し、広く皆さんに参加を呼びかけましょう。

●参加者名簿・名札の作成

当日の迷子防止や、一般のお客様との見分けがつきやすいよう、参加者全員の名札を用意することが多いようです。

企業によっては、写真撮影(公開)を希望しない参加者の名札を色分けし、わかりやすくするなどの工夫も見られました。

step 3

当日までの準備

開催当日に向けて、
ご家族の方が参加しやすいような
工夫が大切です。

●休憩・待合スペース、授乳室等の確保

実施内容や参加者の年齢等にもよりますが、一時的な休憩や、社員とご家族の待ち合わせ、授乳などのためのスペースを早めに確保しましょう。ファミリーデーの実施時間帯だけでなく、その前後も含めて、長めに使えるようにしておくことが、スムーズな運営のポイントです。

●参加者の出欠確認

参加者の出欠確認を行います。当日に急遽欠席者がいた場合の対処法などは、予め決めておきましょう。

●プログラムの実施

事前に決めておいたプログラムを実施します。プログラム通りにならない場合や、突発的な事象で急遽変更になる場合があるかもしれません。あわてず臨機応変に対応していきましょう。



●実施風景の記録

後日、社内報やホームページなどに掲載するための写真や、記録用映像の撮影もお忘れなく。まんべんなく撮影し、参加者にお渡しすると喜ばれます。ただし、撮影を希望されない参加者への配慮も必要です。参加者の方にアンケートを書いていただくなど、実施状況を報告するための資料収集もおこないましょう。



みんなで記念撮影



check

●当日の運営内容確認

社内担当者の人員配置・案内ルート・所要時間・安全確保等の最終チェックを行います。当日、お子さんのケガを防ぐため社員に危険物の片付けをするよう周知しましょう。

●参加案内の作成、周知

内容・スケジュール・注意事項のほか、会場、ファミリーデー担当者の緊急連絡先等を記載します。ご家族だけで行動する時間帯がある場合は、社内セキュリティ(フロアへの入退場等)やトイレ、エレベーター等の説明も必要です。

●当日のプログラムに必要な物品の準備・作成

参加者の名札や模擬名刺、会社概要説明のスライドなど、当日使用する物品やデータの準備・作成を行います。



社内広報が十分なされていないと、社内からの不満や参加者が集まらないなどの恐れがあるので、注意が必要です。



ポイント

step 5

ファミリーデーを終えて

社内全員へ実施状況の
報告を行いましょう。

●参加従業員・参加家族・同僚・上司・担当者の感想をまとめる
当日参加された方々の感想をいただきます。自由記入のアンケートよりも選択式のアンケートの方が回答しやすく、集計も手間取りません。質問例①年齢・性別 ②参加していかがでしたか？ ③ファミリーデーの取り組みは、働きやすい職場の雰囲気作りにつながると感じますか？ ④来年以降もファミリーデーに参加しようと思えますか？ 等

●社内全体に開催後の広報を行います。

当日の様子を社内掲示板や社内報を活用して、開催終了の報告をします。ファミリーデー協力のお礼とともに次回への参加意欲を高めましょう。



●結果や効果を社内分析し、働きやすい職場づくりに役立てていきましょう。

ファミリーデーの目的は、「働きやすい・家族を大切にできる職場の雰囲気づくり」です。今回の実施で、どの程度達成できたのか、確認してみることが大切です。良かった点や改善点など、参加者・社員の声をききながら、働きやすい職場の雰囲気づくりに役立てて下さい。

ファミリーデー実施企業座談会

従業員の家族の職場訪問「ファミリーデー」。平成24年度は約100社に実施いただき、その中から清水化学工業株式会社、社会福祉法人悠遊、ライフネット生命保険株式会社の三社からご担当者をお招きし、ファミリーデーを振り返る座談会を開催しました。コーディネーターは株式会社ワーク・ライフバランス コンサルタントの松久晃士さん。三社の興味深いお話を伺うことができました。



コーディネーター
株式会社ワーク・ライフバランス
コンサルタント
松久晃士さん

清水化学工業株式会社
経理総務部
照屋壮仁さん

社会福祉法人悠遊
理事
伊藤隆志さん

ライフネット生命保険株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
吉川礼瀬さん

参加社員から好評で、 3年連続開催の恒例行事に

ワーク・ライフバランス 松久（以下、松久） まず伺いたいのですが、みなさんはファミリーデーの存在をどのように知られたのですか？

清水化学工業 照屋（以下、照屋） 私の場合は2年前に、両立支援に関する助成金を申請しに都庁を訪れたときに、たまたまパンフレットを見かけたのが最初ですね。そして東京都のホームページをチェックしてみても、これは面白そうだなと思って資料を取り寄せました。

松久 お知りになってから実施まで2年かかったとのことですが、それは何故ですか？

照屋 去年、上に話をしたときには、正直あまり乗り気ではなかったんです。みんなの仕事の手が止まってしまったり、営業サイドの手を煩わせることになるんじゃないか、そんな心配があったようです。それに震災の影響でバタバタしていたということもあって、一度は見送ることにしたんです。それで年度明けくらいから、またメールなどでファミリーデーのお知らせをいただきまして、今年こそはと思って話を進めました。お盆の時期はお客様も休みだから会社も閑散期。みんなの仕事にも余裕があるだろうと思いついて、それと実現できた要因としては、ファミリーデーの情報を、2年越しで根気よく社長に上げ続けていたというのも大きかったんじゃないかと思いますね。

松久 一方でライフネット生命さんの場合は、今年ですでに3年目のファミリーデーになるんですね？

ライフネット生命保険 吉川（以下、吉川） そうですね。以前の職場でファミリーデーのような家族を職場に招くイベントを経験していた者が数名いたんです。そこで社員が2009年に社長に提案したところ採用されて、翌年に初めて実施することになりました。終了後、社員同士のコミュニケーション向上に役立ったという反響があったので、昨年も2回目を開催して、そして今年で3回目となります。

松久 なるほど。では、悠遊さんの場合はいかがでした？

悠遊 伊藤（以下、伊藤） 確か

東京都さんからお知らせをいただいたと記憶しています。うちは中長期方針として「働きがいのある職場」というテーマを掲げていましたから、ファミリーデーを実施することによって、私たちの方針を今一度確認できるいい機会になるのではないかと思ったんです。それで全職員に参加募集の手紙を出したのが、実施日の3週間前くらいかな。女性が多い職場なので、お子さんがたくさん来ることを想定して8月22日の夏休み開催に決めたのですが、意外にも職員のお父さんやお母さんからの参加希望の声が多くてびっくりしましたね。過去の事例などを読ませていただくと、親御さんが参加する例も結構あったようなので、だったら世代に関係なく参加していただくこと。

松久 細かい計画を立てられたのはどれくらい前からですか？

照屋 7月に社内に向けての通知は行なっていました。実施内容を決めたのは8月に入ってからですね。

伊藤 うちの場合も1ヶ月くらい前からですね。まあ、細かいといっ

ても、内容は普通に職員がお仕事しているところにご家族を招いて交流するだけなんですけどね。でも何かプレゼンテーションは用意したいね、ということでお昼ご飯を一緒に食べたらどうだろうと。お昼ご飯といってもデイサービスでご利用者が食べているものと同じものですね。でも、この施設で利用者さんがどんな食事を食べているのかということも知ってもらいたかったんで、そのためのいい機会にもなりました。

松久 ライフネット生命さんはいつ頃から準備を始めたんですか？

吉川 ミーティングが始まったのが、実施日の2〜3ヶ月前からです。社内を実施のアナウンスをしたのは1ヶ月くらい前。そこから実行委員のメンバーが本番に向けての準備を開始したという感じですね。

**家族の顔を知ったことで、
仕事にメリハリが生まれた**

松久 ファミリーデーを実施した後、社内での反応について伺い

たいと思います。清水化学工業さんの場合は「仕事の手が止まってしまふのではないか」といった、懸念の声もあったとの事でしたが、実施後はどうでした？

照屋 終わってみれば皆さん好意的に受け止めてくれて、とつても評判がよかったですね。小さい子供が会社を訪れることなんてあまりないですね。しばらくしてから、「あの子元氣？」なんて、社員同士の会話の中に出てきますよ。社内でのコミュニケーションが増えたということは、確実に感じています。

松久 ファミリーデーには参加されなかった従業員の方たちからは、どういった反応がありましたか？

照屋 今年は初めての開催ということで小学生を対象にしたんですが、もっと小さい子供を持つ社員から、来年は参加したいという声があったので、来年はもっと対象を拡大したいなと思っています。

松久 悠遊さんはどうでしょう？

仕事に対する安心感が芽生えたという女性スタッフがいらっ



しゃったみたいですが。
伊藤 そうですね。彼女は今年の
新卒で、働き始めてまだ7ヶ月
くらいなのですが、従業員の家族
が訪れることができる開かれた職
場、または子育てしながら働き続
けられる職場、そんな僕らが目指
している「働きやすい職場作り」
というのを感じてくれたのかもし
れませんね。



松久 今回悠遊さんのお話を聞いて、ファミリーデーには人材の
定着という効果もあるということ
を知りました。ファミリーデーに
よって、家族に理解してもらって
働き続けることができる。悠遊さ
んの職員さんも、そのことを「安
心感」と表現されたのかもしれない
ですね。ライフネット生命さん
の場合は、3年目のファミリー
デーとなりましたが、ファミリ

当日までの準備

清水化学工業

運営スタッフ：照屋さん1名
総務部の照屋さんが参加募集、企画などを担当。
当日の運営は社内の有志1名が参加。

5月 情報収集

昨年、一度諦めたファミリーデー実施に再度挑戦
するための情報収集。社長の決断が得られたので
実施を決定。

7月 参加者募集開始

広報活動を始めると共に、参加者の募集も開始。
その後、参加予定者への事前連絡・日程調整を行
う。

8月上旬 当日までの準備

実施要綱作成、おみやげにするサンプル品の確保、
製作体験の段取り確認、及び当日の備品の準備(名
刺・名札・配布資料)など。

8月13日 本番

悠遊

運営スタッフ：伊藤さんを含め2名
理事の伊藤さんと、事務局長の浅野正彦さんの2
名で実施から準備までを担当。

5月 東京都からのお知らせ ファミリーデーの存在を知る

中長期方針の「働きがいのある職場」のテーマ
とファミリーデーが合致。理事長に実施を打診
し、快く受け入れられる。

6月 実施決定

統括責任者、各部署の管理者による「管理者会議」
で実施を決定。

7月 参加者募集開始

各職場会議において報告。職員全員に、企画内
容を周知し、参加者の募集を開始。

8月上旬 実施内容の告知

参加家族に対して、当日の詳細内容を通知。

当日までの準備

昼食の発注、施設案内の準備、ファミリーデー
開催の看板作成など。

8月22日 本番

ライフネット生命保険

運営スタッフ：企画部の川越さんを含む7名
経験者の川越さんとファミリーデー直近に入社し
たメンバーから6名を選出。計7名で企画書の作
成から参加者募集、準備、当日の運営までを担当。

6月 運営メンバーの決定

ファミリーデー開催にあたるメンバーを選出。顔
合わせと打ち合わせを開始する。

6月上旬 企画書作成開始

7月 内容のブラッシュアップ作業

ファミリーデーが昨年までとは違うコンテンツに
なるように、メンバー全員でアイデアを絞る。

7月上旬 参加者募集開始

社内メールと朝礼にて参加者を募集。

8月上旬 当日までの準備

当日のプレゼン資料作成。参加人数の最終調整。
ランチ、飲み物、備品の手配などを行う。

8月23日 本番

8月24日 参加に対するお礼メールの送信

ファミリーデー当日

<参加者数5名>

9:30 集合
9:40 挨拶 自己紹介 名刺交換会
当日は社長が不在だったため、花井健司
常務取締役が挨拶。
9:50 会社内見学
オフィスフロアに降りて、子どもたちが
社員全員と名刺交換。その後は倉庫内
も見学。
10:15 勉強会「ポリ製品のできるまで」
照屋さんが手作りしたレジュメを使っ
て、自社製品ができるまでを勉強。
10:45 子供たちによる社員取材
11:00 実技 上履き入れ&ブルバグ作成
12:00 解散

<参加者数13名>

10:00 集合
10:10 理事長挨拶
10:30 デイサービスいずみ 朝の会に参加
職員の家族を施設利用者のみなさんに
「この人は誰のお子さんでしょうか？」
とクイズ形式で紹介。
11:45 職場見学
デイサービスやグループホーム等、職
場ごとに別れて家族が働く姿を見学し
ながら利用者とのふれあいを。
12:00 昼食
職理理事長と実施スタッフと共に昼食。
13:00 質疑応答
13:15 解散

<参加者数52名>

10:30 集合
11:00 役員挨拶
11:10 副社長から会社紹介プレゼン
社員総出のスライドを作成し、ユーモ
アを交えた会社紹介。
11:30 社内ツアー
12:15 ランチ〜かき氷
ライフネット生命保険のシンボルマー
クをモチーフにしたオリジナルパンが
登場。
14:00 解散
※家族が参加した従業員は終了後に家族と共に
退社

デーを続けられて、仕事のやり方
に変化が生じたということはあり
ますか？

吉川 これはひとつの例ですが、
上司が部下の家族の顔を知った
ことで「そんなタラタラ仕事して
たら、〇〇ちゃんを待たせちゃう
じゃない。早く仕事を終わらせて
帰ってあげなさい！」なんてハッ
パをかける場面も見受けられまし
た。子供がいる社員は、早く終わ
らせて帰ろうという意識は元々強
いとは思いますが、上司や周りの
同僚の気遣いが生まれたことで、
仕事の仕方にもよりメリハリが生
まれたという実感はありますね。



照屋 そういうところはあるかも
しれませんね。確かにうちも無駄
な残業は少なくなっただかも。それ
と「今日は子供が風邪で…」って
こともあるわけじゃないですか？
そんなときに実際に子供の顔を
知っていると、「じゃあ早く帰っ

てあげなさい」っていう気遣い
も自然に生まれやすくなりますよ
ね。



吉川 そうですね。今回のファ
ミリーデーには赤ちゃんから大学
生まで、多くの子供たちが参加し
てくれましたが、小さい子供ほど
親のいうことをきかないし、すぐ
に泣くしお腹がすくし大変じゃな
いですか。子育てで奮闘している
同僚の姿を実際に見ると、応援し
てあげないといけないなと思いま
すものね。

伊藤 これまでは会社と家庭は全
く別物と考えられていましたたけ
ど、結局は家族の理解があって初
めて健康的に働くことができる。
家族が仕事の内容、社会に対する
貢献度などまで理解してもらえれ
ば、働いているお父さんお母さん
をより尊敬してもらえて、そのこ
とがさらに仕事に対するやる気に
繋がる。ファミリーデーの効果は

決して一面的ではない。私はいろ
んな効果があるんじゃないかなと
思っています。

吉川 大学生の男の子が毎年参加
してくれているのですが、彼のお
父さんはシングルファーザーな
んですね。男性二人きりの家庭で
すし、家でお子さん一人というこ
とも多いでしょう。そんな彼がお
父さんの仕事場を見て理解するこ
とって凄く重要なことですよ。ね。
父親の仕事場を見て、一生懸命働
く父親の姿を知って仕事の大変さ
を理解する。彼は現場を見たこと
で「父を尊敬している」と言って
いました。

松久 それはその社員さんにとっ
ても、凄く大きいことですね。



吉川 自宅で男性二人だと、あん
まりそういった話はしないみたい
なんです。でも、実際に職場に来
れば子供にもわかってもらえます
からね。いつも照れくさそうに参

加してくれませんが、本当に素敵な
関係だなんて思っています。

周知を徹底さえすれば
みんな協力してくれるから
大丈夫

松久 今回ファミリーデーをやら
れてみて、苦労したことはありません
でしたか？これから実施したい方
に向けてのアドバイスとして伺い
たいと思います。

照屋 社内のみんなに理解しても
らうのは、多少時間がかかったか
もしれませんね。でも、理解さえ
してもらえば、後はそんなに難
しいことはありませんでした。で
も、実施日や実施内容、進捗状況
などの周知は徹底して行ったほう
がいいでしょうね。子供たちが来
て走り回ったりするので、身の回
りの物は片付けておいてねとか。
後で「アレがない」「アレはどこだ」
なんて、トラブルにならないよう
にしないとまずいですからね。

松久 清水化学工業さんのよう
な、モノづくりの現場の場合は特
にそうかもしれませんね。ライフ
ネット生命さんは、何か苦労され
ましたか？

ファミリーデー実施企業事例紹介

建設業	ジョンソンコントロールズ株式会社／ニューロテック株式会社／株式会社松下産業	18
製造業	大和電業 株式会社／株式会社タニタハウジングウェア／ニッカー絵具 株式会社	19
情報通信業	インターリンク株式会社／AJS 株式会社／キャリア・ママ	20
情報通信業	株式会社クララオンライン／株式会社 ケンウッドエンジニアリング／恒和システム株式会社	21
情報通信業	株式会社JSOL／株式会社 主婦と生活社／株式会社 テイルウインドシステム	22
情報通信業	日本ユニシス株式会社／株式会社アイキューブ／株式会社 富士通ビー・エス・シー	23
運輸業、郵便業	三伸運輸有限会社／株式会社ジェイアール貨物・南関東ロジスティクス	24
卸売業、小売業	イクシアコミュニケーションズ株式会社	
卸売業、小売業	国際紙ハルバ商事株式会社／株式会社 佳池商会	25
金融業、保険業	アクサ生命保険株式会社	
金融業、保険業	東京海上日動あしん生命保険株式会社／ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・インベストメント・サービス株式会社／ブルデンシャル生命保険株式会社	26
金融業、保険業	三菱UFJ信託銀行 株式会社	27
不動産業、物品賃貸業	興銀リース株式会社／ライオンズマンションの東京グループ	
学術研究、専門・技術サービス業	株式会社伊藤喜三郎建築研究所／特許業務法人 樹之下知財財産事務所／有限会社 グラフィック・メイト	28
学術研究、専門・技術サービス業	株式会社 電通アドギア／株式会社 ファースト・シンボリー／株式会社フィードフォース	29
学術研究、専門・技術サービス業	株式会社メック・デザイン・インターナショナル	30
宿泊業、飲食サービス業	株式会社ザ・キャピトルホテル東急／ル・ボア株式会社パティスリーイソザキ	
生活関連サービス業、娯楽業	株式会社ノバレーゼ	31
医療、福祉	株式会社 ケイ・コネクト／有限会社 すこやか	
医療、福祉	社会福祉法人 倭林会	32
サービス業(他に分類されないもの)	株式会社エフ・エム・エンタープライズ／株式会社 ケープスタッフ	
サービス業(他に分類されないもの)	株式会社 サン・プロンプト／株式会社第一広栄社／高橋工業株式会社	33
サービス業(他に分類されないもの)	株式会社プリオール／NPO 法人フローレンス／美鈴工業株式会社	34



吉川 苦勞したと言いますか、お子さんのケガがないようにということ、とにかく一番気にしました。それと今年で3年目となるので、マンネリにならないようには気をつけました。

松久 マンネリにならないようにというのは、具体的にどんなことをされたんですか？

吉川 今年は「保険の仕事」を子供たちに説明するために、社員子供にとってはお父さんお母さんが出演するスライドを作ってプレゼンしたんです。子供たちは「パパだ！」「ママだ！」なんて面白がってくれました。子供に楽しんでもらうプログラム作りは、結構苦勞するところかもしれません。

松久 確かにそうですね。プログラム作りについては、どこの企業さんも苦勞されているみたいですね。悠遊さんは何か苦勞したことはありましたか？

伊藤 私の場合はほとんど苦勞してないんですよ。もし来年以降やってみたいという担当者の方にアドバイスしたら、「そんなに難しく考える必要はない」ということですかね。会社のトップ

が理解してくれさえすれば、後はその都度社員に広報していけばいい。まあ、一回だけの広報じゃなくて、何回か広報して理解度を高めるということは必要かもしれないですね。周知を徹底すれば職員も「□□さんの奥さんが来るのか」とか「△△さんの子供ってどんな顔なんだろう」なんて思っていて面白がって手伝ってくれたり、氣を遣って声をかけてくれたりするから大丈夫です。ですから、あまり心配するようなことはないかなと思いますよ。

松久 清水化学工業さんも、蓋を開けてみたらみんなが手伝ってくれたっておっしゃってましたしね。やってみれば意外にスムーズかもしれないけど、周知だけは徹底したほうがよさそうですね。最後に来年に向けての構想などがあれば教えていただけますか？

照屋 そうですね。せっかくだったら、こういった取り組みをしていることをホームページやパンフレットにも掲載するなど、社員に優しい会社」というイメージでPRもしていけたらなと思いますね。カッコよく言えば企業価値を

高める活動？ そんな風に対外的にアピールしながら続けていたらいいなと思います。

伊藤 それはいいことだと思いますね。私も「私たちの業界だってこういう取り組みができるんですよ」っていうことを、同業界に対してアピールしたい。せっかくなら同業界の方たちにもファミリーデーを実施していただいて、介護の現場のイメージを一緒に変えていきたいなと思いますね。

吉川 確かに対外的にもアピールすることは大事ですよ。弊社の理念も「安心して子育てができる社会づくり」ですから、それが実現に近付くために、この試みを続けていることを、たくさんの方たちに知ってもらうことは必要だと思います。

松久 ファミリーデーの取り組み方ははやってみればそんなに難しいことはなく、さらにさまざまな効果があるということが、みなさん



んのエピソードからよくわかりました。ぜひ、他の企業さんにも実施いただきたいと思いますね。私もコンサルタントとしてとても勉強になりました。本日は本当にありがとうございました。

ジョンソンコントロールズ株式会社



■開催日時／2012年8月21日(火)
■開催場所／本社(渋谷区)
■参加人数／71名
家族が参加した従業員の数 25 名・大人(高校生以上) 14 名・中学生 2 名・小学生 13 名・小学生未満 17 名
■実施内容／①オープンオフィス：社長室での記念撮影会、ROC(リモート・オペレーション・センター)見学、催し物(綿あめ、魚釣りゲーム、玉入れゲーム、パルーンアート、お菓子つかみどり、紙遊び、ヨーヨー釣り)
②ランチパーティ
③学習プログラム(会社概要、エコ科学工作体験)

【参加従業員】

有志スタッフの皆さんの熱意が大有り難かったです。必ずしも大がかりな準備はなくても、子供は親の会社を訪問したり、並んだデスクを見るだけでもとてもエキサイティングなようです。

【参加従業員】

各階のイベント、午後の工作などとても楽しんでいました。来年もぜひ、参加したいと思います。

【担当者】

弊社本社にて、今年で2回目のファミリーデーを開催しました。昨年の第1回目のファミリーデーが好評だったこともあり、今年も多くのご家族に参加いただくことができました。今年は新しい試みとして、各フロアで従業員がご家族を温かく迎えるための催し物を豊富に準備しました。会場は参加者の笑顔で溢れ、ご家族、従業員の双方がこのイベントを通じて交流を大変楽しみにしていた様子が伺えました。次年度以降も家庭を大事にする職場の雰囲気づくりを促進していくために、継続的にファミリーデーを実施してまいります。



data.....

○事業内容：空調制御用機器、ビル管理システム、自動制御機器、産業・船用冷凍機器・装置、セキュリティシステムの、設計、製造、販売、施工、サービス、エネルギーソリューションならびに統合ファシリティマネジメント事業

○設 立：1971 年 6 月
○資 本 金：60 億円
○代 表 者：ビルディングシステムズ社長 マーク・カトラー
○社 員 数：約2,400名(2011年4月現在)
○所 在 地：東京都渋谷区笹塚 1-50-1 笹塚 NA ビル

<http://www.johnsoncontrols.co.jp>

ニューロテック株式会社



■開催日時／2011年8月25日(木)
■開催場所／ニューロテック株式会社 本社
■参加人数／4名
家族が参加した従業員の数 1 名・大人(高校生以上) 2 名・小学生未満 2 名
■実施内容／社長挨拶、会社概要案内、従業員紹介、オフィス機器に慣れ親しむ(パソコン使用で名刺作り)特別講義(ニューロテックの歴史)、名刺交換、総括、懇親会

【参加従業員】

○同僚から引き継いだ仕事の確認や、産休中に、変わったことを報告できたのでよかった。

○ご主人にも挨拶ができ、なにより同僚の赤ちゃんを見ることができたので、よかったです。

【同僚】

仕事の都合で、途中までの参加でしたが、同僚のご家族と久しぶりに会えたのでうれしかったです。私のような営業職は時間が流動的なので、参加は難しいかもしれませんが。

【担当者】

全体として、終始和やかに行われ、従業員と従業員の家族のよい交流の時間となりました。

参加した家族が、産休中の女性従業員1名とその配偶者、2名の幼稚園以下の子供でしたので、従業員全体に「産休」への理解が深まったようです。今回は初めてのファミリーデーということもあり、子供を迎えることに心配がありました。名刺の作成にはかなり興味を示し楽しんでいたので、①職場の雰囲気を知ってもらう②オフィス機器に慣れ親しんでもらう、の両方がいい形で伝えることができました。



data.....

○事業内容：建設業、一般労働者派遣事業、特定労働者派遣事業、インターネット・携帯電話による音楽配信及び商品販売、有料職業紹介業

○設 立：2002 年 8 月
○資 本 金：3,000 万円
○代 表 者：代表取締役社長 菊谷 哲治
○社 員 数：15 名
○所 在 地：東京都新宿区西新宿 3-2-7 KDX 新宿ビル 3F

<http://www.neuro-t.jp/>

大和電業 株式会社



■開催日時／2012年8月24日(金)
■開催場所／大和電業㈱
■参加人数／18名
家族が参加した従業員の数 6 名・大人(高校生以上) 5 名・中学生 1 名・小学生 3 名・小学生未満 3 名
■実施内容／会長、社長挨拶、会社説明、商品説明、事務所見学、名刺交換体験、職場体験(コピー、CAD 体験、熱帯魚清掃体験他)、食事会

【参加従業員】

「こどもが「また会社に行きたい、来月もやるんでしょ、今度いつあるの?」などと言っていたので、参加して楽しかったんだと感じました。また、こどもがもらった名刺入れから交換した名刺を何度も見ていたの、思い出の宝物になったと思います。家庭では会社の話を楽しく出来るようになり、家族の会社への認識が高まり家族の絆が一段と強くなったと実感しています。

【同僚】

こどもたちが最初は控えめだったが、慣れてきてはしゃぐ姿を見て、何か会社に足りなかった元気を取り戻せた気がした。会社は家族を育てている重要な役割であると再認識した。

【担当者】

以前から父親参観日を実施したいと思っていましたが、東京都よりファミリーデーの案内が来て「これだ」と思い、社長に提案したところ快く承諾をもらいました。常々、社員も家族に支えられている事を考えると家族も社員の一部と思っていたので、少しでも会社の事を知ってもらえた事、また社員の仲間とふれあった事で会社と家族の関係が前進し、更なるバックアップ体制が出来たと確信しています。

今後はファミリーデーをきっかけに、バーベキューや運動会などを行い、交流を深めて会社と家族の絆をもっともっと強く築いていきたいと考えています。



data.....

○事業内容：工作機械用電装品の製造、販売

○設 立：1955 年 10 月
○資 本 金：5,500 万円
○代 表 者：代表取締役社長 神尾 博行
○社 員 数：58 名
○所 在 地：東京都渋谷区恵比寿南 2-9-2

<http://www.daiwadengyo.co.jp/>

株式会社 タニタハウジングウェア



■開催日時／2012年8月3日(金)
■開催場所／本社
■参加人数／17名
家族が参加した従業員の数 5 名・大人(高校生以上) 4 名・中学生 1 名・小学生 2 名・小学生未満 5 名
■実施内容／名刺作り、銅素材レリーフ加工体験、社長授業(熱環境)、打ち水大作戦、ビアパーティ

【参加従業員】

子どもはすぐに仲良くなるので、子供同士のコミュニケーションにもつながると思います。何より子どもにとっては、とても貴重な夏休みの思い出になるのではないしょうか。多くのお子さんに参加して欲しいと思いました。

【代表者】

参加人数が少なかったのが残念でした。ご両親の職場に子どもたちが行くことは、一般的な職場体験とは違った効果があると思います。子どもたち側からも、積極的に取り組むべき事業だと感じています。

【担当者】

始めに自分の名刺作りをした後、当社製品「雨」といふの原材料である銅板でレリーフの作成をしました。銅板が伸びていく様子におさんは興味津々でした。作業風景を色々な社員がのぞきに来て、おしゃべりも楽しみました。続いて、谷田社長による特別授業。今年は「熱について。放射温度計で身近なものを測り、どうしたら涼しく感じるかを体験しました。日暮暮れる頃、参加家族も増えてきて、雨水タンクにたまった雨水を、毎年恒例の打ち水大作戦で、ビアパーティの会場に打ち水をして涼を呼びました。60名程のビアパーティでは、ヨーヨーつりやビンゴ大会などで盛り上がり、楽しい夏休みのひと時を楽しみました。



data.....

○事業内容：建築用金属外装材(成形屋根材、雨とい、壁材)及び雨水利用商品の製造

○設 立：1947 年 10 月
○資 本 金：7200 万円
○代 表 者：代表取締役社長 谷田 泰
○社 員 数：133 名
○所 在 地：東京都板橋区東坂下 2-8-1

<http://www.tanita-hw.co.jp>

株式会社松下産業



■開催日時／2012年8月4日(土)
■開催場所／東京本社・都内建築現場
■参加人数／25名
家族が参加した従業員の数 7 名・大人(高校生以上) 8 名・中学生 3 名・小学生 3 名・小学生未満 4 名
■実施内容／社長からの挨拶、参加者同士の自己紹介、東京本社内ツアー、ランチ懇親会、貸切バスにて都内の新築工事、改修工事現場、現場事務所を案内、現場作業の体験(測量体験、高圧洗浄体験)

【代表者】

もっと多くの社員、家族が参加できるような回数や内容を検討していきたい。参加対象を地域やお客様にも広げていきたい。また、「ファミリーデー」という名称が、子供を持つ家族に限定されてしまうような印象があるので、子供を持たない家族やこれから子供を持つという従業員や配偶者、あるいは婚約者なども参加できるような名称にして今後は取り組んでいきたい。

【担当者】

「セネコンだからこそ建設現場の見学は欠かせない」...建設現場の見学は、安全への配慮が特に求められましたが、受入側の現場勤務従業員もファミリーデーの趣旨に賛同し、積極的に協力してくれ、見学エリアの安全確保に人念な準備をしてくれました。また、参加者が楽しめるように、現場作業の体験もできたことでご家族(特に子供たち)の喜ぶ顔を沢山見ることでできました。

現場監督という仕事は休みも少なく体力勝負というイメージを持っていた家族が、現場事務所見学の際に、アカデミックなツラデスクワークが質量とも多いことに驚き、お父さんへの尊敬の念が増したようです。また、母子だけで孫を伴っての参加もあり、父親の仕事に対する関心の高さをうかがい知ることができました。実施後、家族の仕事に対する理解が深まり、家族間の会話も増えたようです。参加したお子さんからは、社長宛に御礼状が届き、満足度の高さをうかがうことができました。次回開催のリクエストもすでに届いていますので、今後も継続的に実施していく予定です。



data.....

○事業内容：総合建設業

○設 立：1964 年 12 月
○資 本 金：3 億 1,240 万円
○代 表 者：代表取締役社長 松下 和正
○社 員 数：213 名
○所 在 地：東京都文京区本郷 1-34-4

<http://www.mats.co.jp>

ニッカー絵具 株式会社



■開催日時／2012年7月14日(土)・15日(日)
■開催場所／ニッカー絵具工場(本社)
■参加人数／50名
家族が参加した従業員の数 10 名・大人(高校生以上) 23 名・中学生 3 名・小学生 6 名・小学生未満 8 名
■実施内容／絵具製造工程を主にした【工場見学ツアー】や製品を生かした【体験会】などのワークショップの展開、【作品展示】やプロのアーティストを迎え【壁画/フォーマンス】や【ぬりえ】などを行ないました。2 日目の最後に従業員と家族で【懇親会】も行い社員同士の親睦を深めました。

【参加従業員】

家族に普段の仕事ぶりを見せられて誇らしく思った。また家族や来場者も実際に絵具を作る工程などを目の当たりにして驚きや興味をもってもらった。お子さんが楽しめるような体験会などは非常に疲れたが、みな一様に楽しんでくれて充実できた。

【同僚】

社員同士の連帯感が高まり、部署間の垣根を取って準備を進めてきたことで、今後の仕事に対してより意見など活発になると思う。また従業員以外の人を迎え入れるということと工場の環境改善やどう仕事をわかりやすく見せるか?という点で業務手順の見直しなどに繋がった。

【担当者】

従業員の家族を中心に知人や近隣の家族連れにも参加いただき、地域のレレションも図れた大盛況のイベントとなりました。子供たちに楽しんでもらおうという趣旨で企画し、せっかくなりしかりとしたものをしようというところで、1 か月前より通常業務の合間をぬって各従業員を担当しに振り分け、準備を進めました。従業員、家族、来場者がみな楽しめた内容となり、多くの従業員から「職場の連帯感」「コミュニケーション」「業務改善」に繋がったという声があり、部署間においての相互理解、絆が深まることとなりました。また予想以上に近隣の家族連れが来場され、従業員の家族も協力したことで職場の理解も深まったと思います。



data.....

○事業内容：絵具の製造

○設 立：1950 年
○資 本 金：300 万円
○代 表 者：代表取締役社長 妻倉 一郎
○社 員 数：16 名
○所 在 地：東京都練馬区北町 2-32-5

<http://www.nicker-enogu.com>

インターリンク株式会社



■開催日時／2012年8月28日(火)
■開催場所／本社
■参加人数／8名
家族が参加した従業員の数2名・大人(高校生以上)3名・小学生未満3名
■実施内容／挨拶、会社説明、名刺交換、社内見学、ランチ、デザイン体験

【参加従業員】
会社側で色々企画して頂いたのでも楽しんでもらうことができました。ITの制作現場を見学し、興味をもってもらえた様でした。

【同僚】
◎参加されたご家族の方々に喜んで頂き、楽しんで過して頂けたこと、対応している社員の気づかいや思いやり、会社の雰囲気を感じたことは良かったと感じました。社員にとっても、このような機会は毎年あった方がいいと思います。

◎自分自身、学生時代に会社見学をし、普段、足を運ぶことのない職場環境を体験する事で将来像を描く事が出来たので、今後もファミリーデーは開催した方がよいと思いました。

【担当者】

当社ではもとよりハーベキユーなどの行事で社員とご家族の方々が交流する場を作っておりますが、今回のファミリーデーでも、社員やご家族の方の笑顔をよく見る事が出来ました。子供達を含むご家族の方からの仕事や会社に対する興味・理解を今まで以上に得られる機会がくれたと思っております。また、社員同士の交流や連帯感も感じる事が出来ました。是非来年もファミリーデーを開催し、より多くの社員やご家族の方に積極的に参加して頂きたいです。



data.....
◎事業内容:WEB サービス事業、IT サービス事業、セールスプロモーション事業、アウトソーシング事業、コンテンツビジネス事業、パッケージ販売事業、アプリケーション開発事業

◎設立:1995年8月
◎資本金:1,000万円
◎代表者:代表取締役社長 武本 淳
◎社員数:138名
◎所在地:東京都千代田区九段北4-1-3飛米九段北ビル7階

<http://www.interlink.ne.jp/>

A J S株式会社



■開催日時／2012年8月17日(金)
■開催場所／A J S 株式会社 西新宿本社
■参加人数／86名
家族が参加した従業員の数27名・大人(高校生以上)17名・中学生5名・小学生23名・小学生未満14名
■実施内容／社長挨拶、会社説明、イベント(小学生以上:スゴロクでプログラミング体験と会社を疑似体験・未就学児:紙芝居)、社員との名刺交換、職場見学

【参加従業員】
以前、お父さんの仕事って何?と聞かれ、うまく説明できなかった事がありました。今回の見学で、理解することができた様で、大変貴重な経験をさせて頂き、感謝しています。頂いた名刺は帰宅してからも交換して遊んでいます。ありがとうございました。

【参加従業員】
社長が気さくな方で社長室に入れてくれ、一緒に写真も撮っていただけて良かったです。また、スタッフの方々も対応が親切でした。

小さな子供を連れて行ったこともあり、職場に入るのは少し緊張しましたが、声をかけられる職場の方々が多く楽しい時間を過ごすことができました。

【担当者】

今年で3回目となる今回の職場見学会には例年を上回る27組のご家族に御参加頂きました。藤田社長の挨拶、簡単な会社紹介のあと、小学生は社員の会社生活を疑似体験してもらいスゴロク、未就学のお子さんは、「AJSレンジャー」が大活躍する紙芝居のコーナーに名刺を入れて楽しい時間を過ごしました。その後、折り紙で作った名刺入れを名刺を入れてお父さんお母さんの働く執務室を訪ねました。普段家では見ることでできない親の姿に最初は緊張していた子供たちも、すぐにオフィスの雰囲気慣れて同僚社員と名刺交換を体験したり、社長室で記念写真を撮ったりと楽しんでいました。AJSでは今後も家族の職場理解や社員同士の相互理解を深める活動を推進していきたいと考えております。



data.....
◎事業内容:ソフトウェア・システム開発

◎設立:1987年3月
◎資本金:8億円
◎代表者:代表取締役社長 藤田 純司
◎社員数:600名(2012年6月)
◎所在地:東京都新宿区西新宿8-17-1住友不動産新宿グラウンドタワー

<http://www.ajs.co.jp>

株式会社クララオンライン



■開催日時／2012年8月24日(金)
■開催場所／東京本社
■参加人数／24名
家族が参加した従業員の数8名・大人(高校生以上)4名・小学生5名・小学生未満7名
■実施内容／お父さん・お母さんと一緒に通勤体験、朝礼参加(社長から挨拶)お仕事紹介(社員紹介)、外国籍社員交流、テレビ会議体験、ランチ交流、記念集合写真

【参加従業員】
お互いの子供同士がとても仲良くなつて帰って行ったのが印象的でした。私の子供たちからは「こんな電車に毎日のつるの?」と、尊敬の混じったコメントも出て、家族のために頑張っている自分を理解してもらえたと感じました。

【同僚】
いつも話を聞いていた、同僚のお子さんにお会いできて、うれしかったです。最近に残業があるのですが、みんな必ずプロジェクトを成功させてはやくおうちに帰れるパパにさせてあげたいと思いました。

【担当者】
クララオンラインでは「多様性」を重視していること、ワークライフバランスの施策に重点的に取り組んでいることから、ファミリーデーを開催しました。現在8カ国の国籍の社員が在籍しており、働き方の多様性だけでなく、各国の文化や考え方の違いも常日頃から意識して仕事に取り組んでいます。仕事環境を家族に紹介すること、実際の従業員の仕事に対する姿勢について理解を深めていただけたかと思えます。さらに、社員にとっても、大切な家族の存在を知ってもらうことでコミュニケーションの活性化につながるという意識が芽生えました。今後も続けてほしいという声が強かったので、毎年継続する方向です。



data.....

◎事業内容:インターネットサービス基盤事業

◎設立:1998年5月
◎資本金:2億9,925万円
◎代表者:代表取締役社長 家本 賢太郎
◎社員数:75名
◎所在地:東京都港区芝大門2-5-10住友芝大門ビル10階

<http://www.clara.co.jp/>

株式会社
ケンウッドエンジニアリング

■開催日時／2012年8月8日(水)
■開催場所／八王子本社
■参加人数／17名
家族が参加した従業員の数4名・大人(高校生以上)4名・小学生2名・小学生未満7名
■実施内容／事務所訪問(おとうさん、おかあさんの仕事場で仕事内容の紹介)、仕事体験(名刺交換をしてみよう)、おやつタイム、親子電子工作(ゲーム作り)、今日の思い出を絵日記に書いて発表しよう

【参加従業員】
子供が「また来たい」と言っています。うちの子は、本当に興味がなければ、また来たいとは言わないので、楽しかったんだらうなと思います。特に名刺は本物と同じ名刺をもらい、喜んで遊んでいます。

スケジュールが半日と結構詰め込んだ感がありますが、子供の体力・集中力的にもこれくらいかなと思います。準備が色々大変だったかと思いますが、ありがとうございました。

【同僚】
今回のことも参観は、良い企画だと思います。親の働く姿を見て、子供との距離が近付き、より良い親子関係になつてくれればと思います。

私には子供がいないので、事務所訪問しか見られなかったのが残念でした。今回を機に家族を持つことにし、より関心が高まりました。将来子供がきたら、参加させようと思います。出来れば、子供が居ない人でも一日一緒に参加出来るような内容になつてくれれば、いいと思いました。

【担当者】
開催をするにあたり、忙しい社員のみなさんが、子供達を職場に温かく迎え入れてくれ、とても良い雰囲気が出来ました。

「子ども参観」を主体としたプログラムしたので、今後はお子さんがいなくても誰でも参加出来る内容を考えて、全社員のファミリーデーにしていきたいです。また参加者からは、「とても楽しかったので、今後も他の会社イベントに参加したい」という、意見をいただきました。私は、担当スタッフとして対応出来、とても嬉しく思いました。



data.....
◎事業内容:電子機器等の開発設計

◎設立:1988年8月
◎資本金:9000万円
◎代表者:代表取締役社長 三浦 知成
◎社員数:97名
◎所在地:東京都八王子市石川町2967-3

<http://www.kenwood-eng.co.jp/>

キャリア・ママ



■開催日時／2012年8月31日(金)
■開催場所／キャリア・ママ
■参加人数／4名
家族が参加した従業員の数2名・小学生2名
■実施内容／会社見学、仕事体験、資料作成、懇談会

【参加従業員】
小学校1年生の娘が参加しました。もう少し大きくなつてからも、是非参加させたいです。

他の家族もたくさん参加すると、子供たち同士でのコミュニケーションもとりたりにして、より会社や仕事の理解度も高まりそうです。

【代表者】

今年度は、参加する家族の子どもも年齢を下げた形で実施しました。小学校低学年で、働くということが上手く伝わるかと懸念もありましたが、誰かの役に立つこと、その会社の中で自分の家族が働いていることを理解すること、子どもたちの表情が生き生きと変わっていく姿をみる事が出来、このイベントを開催する意義があると実感しました。子どもたちからも、また来年も参加したいという声が聞かれ、いまから来年の企画を練るのも楽しみです。

【担当者】

今回は、小学校低学年を中心とした、ファミリーデーを実施しました。お仕事体験では、それぞれ従業員から直接仕事を依頼されたり、懇談会では、社長含め他部署の従業員とも、仕事に限らずいろいろな話ができ、幅広い交流ができたと思います。

家族が会社を知る機会にもなりますが、社内でもいつもとは違った雰囲気、社員同士のお互いの親近感がわく場所にもなりました。来年も是非実施したいと思っています。



data.....
◎事業内容:主婦のネットワークを活かしたマーケティング、消費者の欲しい商品を形にする商品サービス企画、エンドユーザーへの情報を伝えるプロモーション、在宅スタッフの活用したアウトソーシング

◎設立:2000年8月
◎資本金:3,875万円
◎代表者:代表取締役社長 堤 香苗
◎社員数:21名
◎所在地:東京都多摩市愛宕4-6-23第13東亜ビル2階

<http://www.c-mam.co.jp/>

恒和システム株式会社



■開催日時／2012年8月25日(土)
■開催場所／恒和システム本社
■参加人数／13名
家族が参加した従業員の数4名・大人(高校生以上)3名・小学生1名・小学生未満5名
■実施内容／従業員とご家族の自己紹介、アトラクションを交えた社内見学、顔写真入り社員証のプレゼント、社内で記念撮影、懇談会

【参加従業員】
基本的には職場はお客様の現場なので、仕事内容を見てもらうことは難しいですが、どんな人たちと一緒に仕事をしているかを知る良い機会だったと思います。参加した人達の普段は見られない一面を見ることが出来て楽しかったです。

【同僚】
社員の家族同士が交流することが出来る貴重な場だと思いました。家族の方々もこういった機会がないと会社に足を運ぶことはないのではと思います。社員の親としての顔を見ることができました。

【担当者】
会社ではなかなか見ることができない社員の一面が見られて良かった。ただ、夏休みはそれぞれ家族の予定が入っている社員が多く、「参加はしたいが、参加できない」という者が多数いたので、時期を夏休みみにしない方がよいと思う。



data.....
◎事業内容:業務システムのシステム設計からプログラム開発及び運用管理事業

◎設立:昭和54年10月
◎資本金:5,000万円
◎代表者:代表取締役社長 川村 慶一
◎社員数:58名
◎所在地:東京都千代田区東神田1-10-4新川ダイユビル3階

<http://www.kowasys.co.jp/>

株式会社JSOL



■開催日時／2012年8月3日(金)
■開催場所／晴海本社
■参加人数／128名
家族が参加した従業員の数 40 名・大人(高校生以上) 31 名・中学生 1 名・小学生 21 名・小学生未満 35 名
■実施内容／職場見学(スタンブラリー&名刺交換)、震災復興支援企画(チャリティバザー等)、タブレットPC 体験、テレビ会議体験、DVD 上映(JSOL 社員の一日の様子)、緑日等

【参加従業員】
働いている場所を実際に家族に見てもらうのは、非常に意味のあることだと思います。これを機に、家族とのコミュニケーションが増えるとともに、家族の会社に対する愛着がより一層増すことを期待しています。

【同僚】
その人のプライベートを知ると親近感がグッと増すので、業務的にも良い効果が出るのではないかと思います。招待されたご家族の方も、運営スタッフの方もみんなイキキとしていて、素敵なイベントでした。

【担当者】
当社の仕事や職場の雰囲気が伝わるイベントを多数開催したことで、従業員のご家族の方に当社をより身近に感じていただくことができています。また、自分の家族を同僚に紹介することで親近感が醸成され、ライフイベントによる制約発生時にも事情を理解し助け合える風土醸成、引いてはワークライフバランスの実現に繋がるイベントになったのではないかと感じています。

なお、本イベントの企画・運営には、多くの有志の社員が関わっており、社員同士の絆も改めて感じることができました。今後も、このようなイベント等を通して、お客様だけではなく社員の家族からも「頼られる会社」を目指していきます。



data.....
○事業内容：システムインテグレーション(製造業界、流通・サービス業界、金融分野、公共分野向けのシステム、CAE ソフトウェア)

○設立：2006 年 7 月
○資本金：50 億円
○代表者：代表取締役社長 田邊 仁一
○社員数：1,300 名
○所在地：東京都中央区晴海 2-5-24 晴海センタービル

<http://www.jsol.co.jp/>

日本ユニシス株式会社



■開催日時／2012 年 8 月 10 日(金)
■開催場所／豊洲本社ビル
■参加人数／91 名
家族が参加した従業員の数 36 名・大人(高校生以上) 5 名・中学生 6 名・小学生 40 名・小学生未満 4 名
■実施内容／役員会議室体験、社長および役員との名刺交換、マシンルーム見学、執務フロア訪問、社員食堂でのお昼、プレーコーナー(PC でのジグソーパズル、折り紙、ペーパークラフトなど)

【参加従業員】
イベント後は家族にとって共通の話題を持てたことで、今まで以上に家族とのコミュニケーションが増したように感じています。プログラムの興味深い内容が盛りだくさんでしたが、職場フロアを訪問し、仕事の雰囲気を感じることができたのがとても良かったと思います。会社が社員を大事にしていることを実感した一日でした。

【参加従業員】
大人ばかりに囲まれることは普段あまり無いので、所属部署で質問されたり名刺交換するのはとても緊張したようでしたが、名刺交換が一番印象に残ったようです。星型がプリントされた名刺が一番のお気に入りて名刺として入っていました。

また、折り紙が大好きでクローバーを折って壁に貼ったり組み立てる折り紙に挑戦しましたが、よくわからず事務局の方に最後まで教えていただき、ようやく完成して喜んでいました。

【担当者】
社員が働きがいを感じ、健康でイキイキと働いていくためには、日頃の家族の支えと理解が大切です。家族に職場を見て会社を身近に感じているの思いから、毎年ファミリーデーを開催しています。

今年は参加社員の所属する各部署からのサポートも加わり、さらに歓迎ムードが高まり、多くの社員が元気な子どもたちをもてなす姿が印象的でした。



data.....
○事業内容：クラウドやアウトソーシングなどのサービスビジネス、コンピュータシステムやネットワークシステムの販売・賃貸、ソフトウェアの開発・販売および各種システム関連サービス

○設立：1958 年 3 月
○資本金：54 億 8,317 万円
○代表者：代表取締役社長 黒川 茂
○社員数：4,358 名
○所在地：東京都江東区豊洲 1-1-1

<http://www.unisys.co.jp/>

株式会社 主婦と生活社



■開催日時／2012 年 8 月 22 日(水)
■開催場所／自社会議室ほか
■参加人数／11 名
家族が参加した従業員の数 5 名・大人(高校生以上) 1 名・小学生 4 名・小学生未満 1 名
■実施内容／社長挨拶、自己紹介を兼ねた名刺交換会、スライド&クイズによる企業説明、雑誌グラ等を使って「本の作り方」を解説・職場見学、社内ポストへのメッセージカード仕分け(業務手伝い) 等

【参加従業員】
今回の参加者が比較的年齢の近い女の子ばかりで、みな、当社で出版しているキャラクター書籍の原稿などに興味を示していました。本づくりの具体的な作業はともかく、イメージの一端は理解できたようです。職場見学として各部署を回っている際は多くの人にかわいがってもらい、本人も大喜びでした。自分自身も、子供をきっかけに社内であり接客のなかった部署の人とも話ができ、親子ともに有意義な時間を過ごすことができました。

【参加従業員】
小学校低学年の長女と年中の次女とで参加しました。さすがに次女は業務への理解は今ひとつでしたが、社内のいろいろな人と楽しそうに名刺交換をしていました。長女のほうは、雑誌の校正紙を間違ひ探しの感覚で見て喜んでいました。ファミリーデーのあとも、いろいろな人から子供のことについて話しかけられ、社内コミュニケーションを深めることができました。

【担当者】
出版社である当社には、社内にはほとんど「見どころのある」設備がないため、参加者に喜んでもらえるか不安もあったが、会社概要を説明したスライドをクイズ形式にしたことで興味を覚えてもらった。また、社内見学で各部署を回った際は、社員がみな相手を崩してお菓子やペナルティグッズを分けてくれたりと、社内が温かい雰囲気に。お子さんそれぞれに 20 枚ほど名刺を渡したのも好評で、自発的に多くの社員に名刺交換を申し込んでいた。当社では初めての試みであったが、社員同士のコミュニケーション強化に特に有効という実感をつかめたので、今後も定期的に実施していきたい。



data.....
○事業内容：出版業(雑誌および書籍の発行ならびに販売)

○設立：1935 年 4 月
○資本金：2,000 万円
○代表者：代表取締役社長 高納 勝男
○社員数：145 名
○所在地：東京都中央区京橋 3-5-7

<http://www.shufu.co.jp/>

株式会社バイキューブ



■開催日時／2012 年 8 月 22 日(水)
■開催場所／株式会社バイキューブ本社
■参加人数／13 名
家族が参加した従業員の数 4 名・大人(高校生以上) 3 名・小学生 4 名・小学生未満 2 名
■実施内容／社長からバイキューブについてのお話、海外拠点のマレーシアオフィスと WEB 会議システムを通じて交流、スタジオでオンライン配信体験、記念写真、ランチ

【参加従業員】
今まで、一丁の知識が無い子供達に、どんな仕事をしているかをうまく伝えることができてきたが、ファミリーデーを通じて伝えることが出来たと思います。また、一緒に参加した他の家族の方や協力社員とのコミュニケーションが出来たことは子供達にとっても普段はなかなか経験できなかったであり、良かったと思います。

【同僚】
子供は、親の仕事を漠然とわかっていても実際に会社を見る機会がないので、今回のようなイベントはとてもよかったと思います。同伴されたお母様も、仕事に対する理解度が増したのではないかと思います。夏休みはいろいろな体験ができ、好奇心旺盛になっている期間なので、この時期に実施して正解だと感じました。

【担当者】
私達バイキューブでは「社員と家族が絆を一層深め、会社を身近に感じるきっかけ作り」を目的として、今回初めてファミリーデーを開催致しました。子供達にバイキューブとはどんな会社か、どんなことを目指しているか、何を求めているかを知ってもらう為、実際にサービスを感じ、楽しみながら分かりやすく理解してもらえるプログラムを考えました。初めて触れる WEB 会議システムを使った海外オフィスとの交流や、オンライン配信体験に目を輝かせている子供たちの姿を目の当たりにし、日本の未来を担っていく子供たちの為に、更に便利に優れたシステム開発、サービス提供を行っていくという気持ちが強まりました。



data.....
○事業内容：ビジュアルコミュニケーションシステムの企画・開発・販売・運用・保守

○設立：1998 年 10 月
○資本金：4 億円
○代表者：代表取締役社長 関下 直見
○社員数：180 名
○所在地：東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 GT タワー 20F

<http://jp.vcube.com/>

株式会社
テイルwindシステム

■開催日時／2012 年 8 月 23 日(木)
■開催場所／本社
■参加人数／52 名
家族が参加した従業員の数 17 名・大人(高校生以上) 11 名・中学生 2 名・小学生 13 名・小学生未満 9 名
■実施内容／朝の挨拶、朝礼(社長挨拶、3 分間スピーチ)、システム開発進捗会議、名刺交換練習、プログラミング実演、キーボードタイピング早打大会、記念撮影、懇親会

【参加従業員】
会社の就業時間に家族と子供が来るのは初めてで、いつもと違った雰囲気を感じました。日頃から家族参加型のイベントを開いておりましたが、イベントの時とは違う難しい話や普段体験の出来ない経験をした 1 日だったと思います。子供達にも名刺を作ってくれて、自分の名前が名刺になっている事に嬉しく思ったり、最後には今日のお給料と言って図書券をくれたりして、新鮮な 1 日となりました。また是非こういう機会があったら参加したいと思います。

【同僚】
普段は見られない同僚の一面が垣間見られて、すばらしい取り組みと感じました。同僚に対する印象が変わり、増々好感が持てるようになりました。また日常では中々参加出来ないイベントでもあり、良い気分転換が出来ました。

【担当者】
初めての取組でしたが手探りな部分もありましたが、日頃から家族を大切にしていて弊社だからこそ「社員を支えてくれたる」家族に職場の雰囲気は是非体験してもらいたい、という強い想いがあり実施したいでした。仕事現場を実体験することで、家族がどのような仕事・職場で働いているかを知る良い機会にもなりました。仕事に対してより理解を得られたと思います。次年度も積極的に参加したいと考えております。



data.....
○事業内容：お客様の立場で問題解決を図るために現状の問題解析、システム化構想及び計画の段階から検討に参画し提案型のシステム開発を念頭に置いたコンサルティング及びシステム企画。

○設立：平成 16 年 2 月
○資本金：3,000 万円
○代表者：代表取締役社長 迎 浩一朗
○社員数：95 名
○所在地：東京都立川市曙町 2-8-18 東京建物ファール立川ビル 4F

<http://www.tailwind.co.jp/>

株式会社
富士通ビー・エス・シー

■開催日時／2012 年 8 月 21 日(火)
■開催場所／本社お台場開発センター
■参加人数／25 名
家族が参加した従業員の数 10 名・大人(高校生以上) 3 名・中学生 5 名・小学生 6 名・小学生未満 1 名
■実施内容／子ども社員入社式、会社説明、名刺交換練習・参加証作成、職場見学、名刺交換、ロボコン体験、歓談、専務と写真撮影、修了式

【参加従業員】
○子供の成長にとって大変良いことだと思います。今回限りにせず、一度参加した子も繰り返し参加すると良いと思います。

○学年に合わせた会社説明を望みます。高学年では就職につながることもあるので。

○子供ながら今まで何度も聞いてはいた「会社」について少しイメージできるように、とても良い経験になりました。それに、ロボットはともいような構造になっていてとてもすごいと思ったし、僕も作ってみたいと思いました。とても楽しかったです。

【参加家族】
本日は名刺交換を体験させてもらったり、僕の場合はインタビュさせてもらったので、とても良い経験になりました。それに、ロボットはともいような構造になっていてとてもすごいと思ったし、僕も作ってみたいと思いました。とても楽しかったです。

【担当者】
弊社初めての取り組みとなる「職場訪問デー」。参加者のみなさんにとっても社員として入社していただき、富士通ビー・エス・シーってどんな会社か?システムエンジニアってどんなお仕事してるの?いろいろな体験を通して理解を深めてもらうプログラムを準備しました。当日はたくさん笑顔が見られ、名刺交換や職場見学などの実体験を通して、「家族が働いている職場ならびに社会の一部を知っていただく時間となりました。今後とも従業員家族の信頼向上、職場の上司や同僚による相互理解を深める機会となるような企画を考え、働きやすい職場づくりを目指していきます。



data.....
○事業内容：ソフトウェア開発とソフトウェアサービスおよびソリューションの販売

○設立：1963 年 11 月
○資本金：19 億 7,000 万円
○代表者：代表取締役社長 室町 義昭
○社員数：2,096 名
○所在地：東京都港区台場 2-3-1 トレードピアお台場

<http://www.bsc.fujitsu.com/>

三伸運輸有限会社



■開催日時／2011年8月27日(土)
■開催場所／三伸運輸有限会社 国立事務所、青果市場
■参加人数／7名
家族が参加した従業員の数 3名・大人(高校生以上) 1名・小学生未満 3名
■実施内容／社内見学(電卓操作等)、市場見学(ラップ梱包体験、フォークリフトやトラック乗車体験)、食事会

【参加従業員】
現場は危険で、なかなか連れてこれられないので、自分の仕事の内容を見せることができないと思っていたが、こういう機会を作ってく頂き、パパママはこういう仕事をするんだと見ることができてとても良かった。お土産も頂き、特別楽しい思い出になりました。

【参加従業員】
子供たちも初めてフォークリフトに乗ったり、知ってる野菜たちをお店に運び、自分たちの口に入るということが分かったりして、楽しかったようです。夜中から朝にかけていつも仕事してる理由が子供たちにも多少なりとも理解してもらい、良かったです。こういう企画をたてて頂けて大変感謝しております。お土産頂いた果物はとてもおいしかったです。ありがとございました。

【担当者】
子供たちにとって、なかなか見ることができない親の仕事場を見学、実践すること何かつかってくれた事と思います。作業中にも関わらず、社員の方々にも協力して頂きました。こういうことを企画することにより社員の絆も深まり、温かい職場環境作りに貢献できたと思います。初めてファミリーデーを実施しましたが、なかなか好評だったので今後も続けられたと思います。



data.....

◎事業内容：運送業
◎設 立：1996年6月
◎資本金：1,000万円
◎代表者：代表取締役 加園 雅基
◎社員数：30名
◎所在地：東京都国立市谷保1088-9

国際紙パルプ商事株式会社



■開催日時／2012年8月8日(水)・9日(木)
■開催場所／東京本社
■参加人数／28名
家族が参加した従業員の数 9名・大人(高校生以上) 6名・小学生 6名・小学生未満 7名
■実施内容／「会社は何をやっているところ?」、「紙とは?」についての話がした後、父母のオフィスで周りの社員との「子ども名刺」交換や、デスクでパソコンを触ってみる仕事場体験を実施。当社がヒートアイランド現象の低減対策として屋上に設置した庭園を見学した後、役員会議室で社長との名刺交換を行いました。父母と一緒に社員食堂で昼食をとった後、一日の出来事を「絵日記」に書いて会は終了しました。

【参加従業員】
子どもに実際働いている職場を見ることができ、母親がどのような仕事をしているかがわかったかと思えます。この家族見学会に参加したことで、職場の人にも子育て中であることを知ってもらえて良かったです。

【参加従業員】
普段子ども達には見せられない会社を見てもらって、少しは仕事を理解してもらえたと思います。子どもも、かなり緊張していましたが、とても楽しんでいました。

【担当者】
実施2年目の今年は就業時間中に開催し、実際に父母が働いているところを見学できるよう企画しました。父母の職場見学時には周りの社員も協力的で、子ども達と名刺交換するなどして交流を図りました。子ども達の仕事について理解するきっかけを提供する一方で、社員同士の連帯感も強まったことから、開催して良かったと思います。



data.....

◎事業内容：紙、紙加工品の売買および輸出入
◎設 立：1924年12月
◎資本金：34億4,278万円
◎代表者：代表取締役社長 赤松 恭夫
◎社員数：628名
◎所在地：東京都中央区明石町6-24

<http://www.kppc.co.jp/>

株式会社ジェイアール貨物・南関東ロジスティクス



■開催日時／2012年8月21日(火)
■開催場所／JR貨物東京貨物ターミナル駅
■参加人数／29名
家族が参加した従業員の数 13名
大人(高校生以上) 1名・中学生 4名・小学生 6名・小学生未満 5名
■実施内容／会社の紹介(概要)、DVDを使って貨物駅でのフォークリフトを使ってコンテナを積卸する様子を説明、作業見学(コンテナホーム見学、コンテナ積卸実演・JR貨物機関車及び同社中央研修センター見学)、食事会

【参加家族】
口で見ることの出来ない貨物駅の中を見ることが出来て面白かった。また、父親の仕事の様子を見ることが出来てよかった。

【代表者】
社員の家族が、父親の仕事に関心を持つことにより、企業の持つ社会性を認識するとともに、家族の絆が深まり、社員との連帯感が醸成されると考えている。また、この取り組みは、安心して働ける社会を構築するための方策として有意義であると考えており、引き続き輪を広げていきたい。

【担当者】
夏休みの暑い時期の開催で参加者の熱中症への対策や貨物駅構内での開催であることから参加者の安全確保が課題でしたが、家族で参加した以外の社員も趣旨に賛同し、積極的に協力してくれたため、万全な準備が出来ました。

貨物列車への荷役作業という家族には理解されにくい仕事の内容も、実際に見てもうえば「百聞は一見にしかず」でよく理解してもらえたと思います。

参加してくれた子供たちは普段はなかなか間近に見られない巨大なフォークリフトや機関車を見て、とても喜んでくれましたので来年以降も継続して開催していきたいと思っています。



data.....

◎事業内容：貨物取扱業(貨物列車にフォークリフトでコンテナを積み込む作業)
◎設 立：2012年1月
◎資本金：5,000万円
◎代表者：代表取締役社長 佐々木 淳
◎社員数：99名
◎所在地：東京都品川区八潮3-3-22

株式会社 佳池商会



■開催日時／2012年8月4日(土)
■開催場所／多摩営業所
■参加人数／8名
家族が参加した従業員の数 2名・大人(高校生以上) 2名・小学生 3名・小学生未満 1名
■実施内容／会社概要説明、見学注意事項説明、冷蔵庫冷凍庫体験、トラック乗車体験、職場の皆さんと交流

【参加従業員】
子供たちは、大きなトラックの荷台に乗せて貰ったり、冷凍庫の寒さを体験したり、普段は遠くから眺めているだけだったことを、実際に体験することで社会をほんのすこし垣間見ることが出来て、良かったと思えました。

【同僚】
参加した家族の方、特に子供たちはとても興味深く見学しておりました。仕事というものを理解するきっかけになり、良かったと思います。

【担当者】
今回ファミリーデーを実施することで、ワークライフバランスを考える良い機会になりました。当社では実際に、イクメンもあり、社内で活躍しています。中小企業でも工夫次第で仕事と育児の両立が出来ることを社員の家族や従業員に知っていただきました。これからも子育て世代を応援していきたいと思っています。



data.....

◎事業内容：卸売業
◎設 立：1962年6月
◎資本金：3,600万円
◎代表者：代表取締役 池頭 康之
◎社員数：40名
◎所在地：東京都中野区江古田1-36-6

<http://www.yoshiike.net/>

イクシアコミュニケーションズ株式会社



■開催日時／2012年7月1日(日)
■開催場所／イクシア新宿オフィス
■参加人数／47名
家族が参加した従業員の数 14名・大人(高校生以上) 15名・中学生 5名・小学生 7名・小学生未満 6名
■実施内容／参加従業員と家族の自己紹介、社長の挨拶&会社紹介、海外とテレビ電話会議実演、英語でQ&A、オフィスツアー、全員で記念撮影、昼食会

【参加従業員】
家族が1人とは全く関係の無い職業であり、また会社として扱っている製品が更に一般的でない製品のため、仕事内容や扱っている製品について説明が難しく、いままて家族に仕事内容をイメージしてもらうのが難しかったのですが、会社を見学したり簡単なクイズといった形で、少しでも家族に仕事内容をわかってもらう事ができた点が良かったと思います。

【同僚】
今回、ファミリーデーに参加したことで、普段と違う同僚の一面に接することができて、すごく楽しいイベントでした。家族の方と一緒に居る姿を見たりすると、不思議なもので皆さん夫、妻、パパ、ママという顔をしていたのが、すごく印象的でした。

【担当者】
ファミリーデーは初めての試みて、担当者としても手探りの準備・実施でした。扱っている製品は専門的な測定機なのですが、会社紹介などを通じて家族が仕事内容を理解する助けになったようです。またテレビ電話会議で英語でのコミュニケーションを実感してもらえたと思います。

親睦会も開催しましたが、食事メニューをアレルギーを持ち子供たちが食べられるよう配慮した結果、何名かの参加者からメニューが子供向けでなかったとコメントをもらったことが反省点です。

結果的に幅広い従業員の参加・協力が得られ、家族同士の交流が広く行えたことが最も良かった点と考えています。



data.....

◎事業内容：イクシアコミュニケーションズ株式会社は、Ixia社(Nasdaq:XXIA)の日本人です。無線、有線通信などのあらゆる種類のネットワーク向けにテストソリューションを提供しています。

◎設 立：1995年4月
◎資本金：1,000万円
◎代表者：代表取締役 村上 憲司
◎社員数：30名
◎所在地：東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル11F

<http://www.ixiacom.jp/>

アクサ生命保険株式会社



■開催日時／2012年7月27日(金)
■開催場所／アクサ生命保険株式会社本社
■参加人数／66名
家族が参加した従業員の数 22名・大人(高校生以上) 16名・中学生 2名・小学生 6名・小学生未満 20名
■実施内容／キャンペーンキャラクター「くるりん」を交えた記念撮影、CEO オフィス見学、子どもたちとCEOの名刺交換、職場見学・体験、懇親会など。

【参加従業員】
ファミリーデーに参加した最大の効果は、家族同僚共に理解が深まり、「コミュニケーションが良くなったことです。例えば対家族、特に子どもに対しては、「会社」生命保険を売るところ」という難しい話ではなく、「会社」くるりんがいるところ」という分かりやすいものになり、自分の仕事や職場をより身近に感じてもらえることができました。また同僚に対しては、「まだ小さいお子さんがいる○○さん」という認識から「小学校一年でお父さんにソックリ、元気な●●くん」というお子さんがいる○○さん」という理解になり、子育てに関して職場での配慮が増したように思います。

【代表者】
生命保険は未来の幸福を実現する為のものであり、その未来を担う子どもたちと直接触れあうこの機会を毎年楽しみにしています。今年も多く社員とそのご家族の皆さんと直に接し、私にとっては非常に有意義な時間でした。今後も、社員とそのご家族の皆さんの幸福の為、より良い環境の整備に取り組んで参ります。

【担当者】
今年で4回目を迎え、すっかり夏の恒例行事となっています。子どもたちにとってはパパママの職場体験はもちろん、26階の高層オフィス、ベルギーCEO、くるりん、バルーンアート、おみやげ等、楽しい思い出になったようで、後日提出いただいた絵日記にはお子さんらしい言葉やかわいい絵がいっぱいでした。当社は重要課題としてワークライフバランスに取り組んでおり、今後ますます制度面を充実させていくことは勿論のこと、家族間・社員間のコミュニケーション向上によっても一層の推進を目指していきたいと考えています。



data.....

◎事業内容：生命保険事業
◎設 立：1994年7月
◎資本金：605億円
◎代表者：取締役代表執行役社長兼CEO
ジョシ = ルイ・ローラン・ジョシ
7,301名
◎社員数：7,301名
◎所在地：東京都港区白金1丁目17番3号 NBFプラチナタワー

<http://www2.axa.co.jp/>

東京海上日動あんしん生命保険株式会社



■開催日時／2012年8月24日(金)
■開催場所／銀座本社
■参加人数／47名
家族が参加した従業員の人数 16名・大人(高校生以上)7名・小学生17名・小学生未満7名
■実施内容／社長からのウエルカムメッセージ、社長室見学、社員との名刺交換、疑似保険証券作成体験、職場見学を兼ねたスタンプラリー、乳がん検診啓発活動、疑似通貨発行、わなげ、バスケットボール、風船遊びなど

【参加従業員】

息子は以前から私の職場に興味があるようだったので、良い経験をさせてあげられたと思っています。「母の仕事」に対する理解が、子供なりに深まったことで、思いやりの心を見せることも増えたように感じます。

【参加従業員】

毎回、会社を訪問するのをとても楽しみにしていて、一日中会社にいたいくらいと言っていました。「大きなママの会社でお仕事するのいいなあ」と言ってくれるのが嬉しです。

【担当者】

家族の方に従業員の仕事に対する理解を深めていただくことや、従業員に家族の大切さと仕事・会社に対する誇りや働き甲斐を感じてもらうことを目的に、家族参観日を開催しました。
3回目の開催となる今年も多くの方に参加頂き、笑顔あふれる大変楽しい会となりました。



data.....

○事業内容：生命保険業

○設 立：1996年8月
○資 本 金：550億円
○代 表 者：取締役社長 北沢 利文
○社 員 数：2,272名
○所 在 地：東京都中央区銀座 5-3-16

<http://www.tmn-anshin.co.jp/>

ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・インベストメント・サービス株式会社



■開催日時／2012年8月24日(金)
■開催場所／BBH オフィス
■参加人数／38名
家族が参加した従業員の人数 13名・大人(高校生以上)15名・小学生4名・小学生未満6名
■実施内容／オフィスツアー、キャラクターを探せ&名刺交換体験(子供)、従業員および家族の交流会・懇親会、記念集合写真、ビデオ上映、会社概要説明(資料)および記念品贈呈

【参加従業員】

子供や配偶者・パートナーが主に参加されるものかと思っていました。が、親に来てもらうのも親孝行かと思いつきました。案外抵抗感なく、他にも両親を連れてきている方々もいて評判は良かったようです。もし躊躇されている方がいれば遠慮することはないです。

【参加従業員】

5年前のイベントを覚えていた長女がこの日をとても楽しみにしており、今回は子供たち二人がとも楽しんでいました。

【担当者】

参加家族もイベントを運営する側もできるだけ負担なく、無理なく今後も継続的に開催できるようなイベントとなるように心がけました。オフィスツアーの中でキャラクターに扮した社員を探して名刺交換をするというゲームは子供達にかなり評判が良かったようです。今回は親を連れてきた参加者も目立ち、世代を越えて充実感を共有できるファミリー向けのイベント運営が今後の課題です。また、当日はコーポレート・カラー・テイとして、オフィス内の社員全員が白・赤色のウェアで雰囲気作りを後押ししてくれました。



data.....

○事業内容：金融情報サービスの提供

○設 立：1999年6月
○資 本 金：1,000万円
○代 表 者：代表取締役 永久 幸範
○社 員 数：80名
○所 在 地：東京都港区虎ノ門 1-2-8
虎ノ門驛平タワー15階

http://www.bbh.com/wps/portal/ourfirm/contactus/officelocations/asia/tokyo_en

プルデンシャル生命保険株式会社



■開催日時／2012年8月10日(金)
■開催場所／プルデンシャルタワー、一番町ビル、HAKUWA ビル
■参加人数／48名
家族が参加した従業員の人数 15名・大人(高校生以上)13名・小学生7名・小学生未満13名
■実施内容／子どもの辞令交付、子ども用社員証授与、生命保険の話、社長室見学・社長との名刺交換、社員へのサンクスうちわ作成、オフィスツアー・社員との名刺交換

【参加従業員】

帰宅後に、妻が「スタッフの方一人ひとりが、目の前にいる」家族に対して何をすれば喜んでもらえるかを常に考えてすぐ実行に移されていて、「家族の構成によって異なる応対をスタッフの皆さん全員が自発的かつ自然に行っていることに驚き、感動した。」と言っていました。皆さんの大変な準備と行動力によって素晴らしい一日となり、我が家にとっても素敵な思い出となりました。

【参加従業員】

「会社の社風や働いている社員のことの良いことが分かって非常に良かった。夫がこのような会社でこのような仲間と働かせていただいているのがとてもうれしいと思います。自分もこういう会社で働きたかった」と妻が言ってくれたのが個人的にもうれしかったです。

【担当者】

社内でダイバーシティを推進するための有志メンバーで構成される多様な推進ナビゲーターズがスタッフとなり、今回の企画から運営まで携わりました。会社や仕事への家族からの理解を深め、社員が業務に集中できる環境づくりをサポートすることや、家族を通じた社員同士の相互理解を深め、風通しのよいコミュニケーションの土壌を醸成することを目的に、社員とご家族がともに楽しみながら参加できるプログラムにしました。



data.....

○事業内容：生命保険業及びそれに付随する業務

○設 立：1987年10月
○資 本 金：290億円
○代 表 者：代表取締役社長兼最高経営責任者 ジョン・ハンラハン

○社 員 数：4,403人
○所 在 地：東京都千代田区永田町 2-13-10
プルデンシャルタワー

<http://www.prudential.co.jp>

三菱 UFJ 信託銀行株式会社



■開催日時／2012年8月15日(水)
■開催場所／本店ビル
■参加人数／58名
家族が参加した従業員の人数 28名・小学生30名
■実施内容／信託銀行の仕事についてクイズを行った後、チームに分かれて体験ツアーを実施(一億円の重さ体験、札勘定体験、テレビ会議体験)。午後は、社長との名刺交換・記念撮影を行った後、親社員が働くフロアを訪問し、パソコン操作や社員の同僚との名刺交換等を体験。

【参加従業員】

自分の名刺を作ってもらえたことが嬉しかったように、参加した日の夜は、名刺を横において寝ていました。
子供にとっては、「子ども参観日」への参加をきっかけに仕事に対する理解が深まると共に、知らなかった親の一面が見えたように、子供との距離が一層縮まりました。

【参加従業員】

「職場見学」の時間には、部長以下数名の同僚の方と名刺交換を行う等、ビジネスシーンの一部を体験することができ、子供にとって非常に貴重な経験になったと考えています。将来どのような職業に就くにせよ、今回の経験が何らかの形で活かせることを信じて止みません。

【担当者】

「子ども参観日」は「ワークライフバランス」に対する意識向上を図るイベントとして、今年で6回目の開催となりました。このイベントは、子供にとっては親の仕事を理解する機会となり、又、参加した親の社員やその上司・同僚にとっては、家族や働き方について考え直すきっかけとなっています。今後も、より一層のワークライフバランスの推進を目指し、さまざまな取組みを実施していきます。



data.....

○事業内容：金融業

○設 立：1927年3月
○資 本 金：3,242億円
○代 表 者：取締役社長 若林 辰雄
○社 員 数：7,880名
○所 在 地：東京都千代田区丸の内 1-4-5

<http://www.tr.mufg.jp/>



data.....

○事業内容：総合リース業

○設 立：1969年12月
○資 本 金：117億6,018万円
○代 表 者：代表取締役社長 阿部 勘
○社 員 数：539名
○所 在 地：東京都港区虎ノ門 1-2-6

<http://www.ibjl.co.jp/>

興銀リース株式会社



■開催日時／2011年8月3日(水)
■開催場所／興銀リース株本社ビル
■参加人数／50名
家族が参加した従業員の人数 13名・大人(高校生以上)13名・中学生4名・小学生8名・小学生未満12名
■実施内容／社長挨拶から始まり、記念写真の撮影、仕事内容を説明するスライドショーを上映後、役員フロアや応接フロアなど本店ビル内を見学しました。その後、お父さん・お母さんの働いている職場に訪問し、お昼には家族一緒に食事をしました。

【参加従業員】

子どもには、毎日、父親が「やっつ会社まで行き、どついた場所まで働いているのを知ってもらって、いい機会となりました」。以来、玄関前での「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」という言葉に以前よりも気持ちがいこもっている気がします。会社には、こういった有意義な日を設けてくださったことに感謝しています。

【参加従業員】

子どもは2歳ですが、最近朝起きると「今日はお父さん会社行くの?」と聞くようになりました。今まで、実際に会社がどういう所なのかは全く理解できていなかったのに、今回このような機会を設けていただき、働いている姿を見ることができて良かったです。

【担当者】

ファミリーデー(家族職場見学会)は初めての試みでしたが、実施してみても社員の家族にとって職場を見ることは普段できない貴重な体験と感謝され、また我々としても社員それぞれが抱えている家族の存在を再認識できる良い機会となりました。
今後、ワーク・ライフ・バランスの推進を続けていきたいと考えています。

ライオンズマンションの大京グループ



■開催日時／2012年8月1日(水)
■開催場所／大京本社ビル他
■参加人数／27名
家族が参加した従業員の人数 12名・大人(高校生以上)1名・小学生14名
■実施内容／ライオンズマンションのモデルルームを見学しながら、大京グループの会社や仕事をクイズ形式で紹介。研修センターでは、消火器体験、地震発生装置体験を行いました。各社の社員や社長との名刺交換も行い、両親の仕事に触れて貰いました。

【参加従業員】

普段共働きで母親として、子どもと接する時間が限られているため、こういった取組をしてもらえる事で、子どもの仕事への理解を深めてもらえる良い機会であり、職場内でも周囲の理解を深めさせてもらえました。

【参加従業員】

子どもはとても喜んでいました。社長訪問の後、自分の部署に行ったのですが、副社長をはじめたくさんの同僚のみなさんが、娘と名刺交換をしてくださり、帰宅後も兄たちに見せて嬉しそうでした。会社のみなさんのご好意に感謝いたします。

【担当者】

ワークライフバランスを推進することで、社員には仕事も家庭も充実させ、イキイキと活躍してほしいという思いから、ファミリーデーを企画しています。

4回目の実施となりますが口コミや再申込みなど今回も多数の応募があり、参加者からの嬉しい声だけでなく、未参加の社員からも、良い取組みだねとの好反応があり、今年度も大きな成果があったと考えています。今後も社員と社員の家族にとって良い会社であるように、ワークライフバランスの推進に取り組んで参ります。



data.....

○事業内容：不動産業

○設 立：1964年12月
○資 本 金：411億71百万円
(2012年3月31日現在)
○代 表 者：代表執行役社長 山口 陽
○社 員 数：3,712名
○所 在 地：東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-24-13 千駄ヶ谷第 21 大京ビル (ほか)

<http://www.daikyo.co.jp/>

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所



■開催日時／2012年8月3日(金)
■開催場所／本社 会議室
■参加人数／15名
家族が参加した従業員の数6名・中学生1名・小学生6名・小学生未満2名
■実施内容／オフィスタワー、会社説明、名刺交換、模型作成、強度実験

【参加従業員】
子供が会社や仕事について少しずつ考えるようになってきました。子供も次回を楽しみにしています。

【同僚】
親の仕事を見ることは、子供にとっても良い事だと思います。少しでも社会というものに触れる事が、子供達の生活にも変化がうまれると思います。

【担当者】
今年で2回目の「子ども参観日」の開催となりました。子供たちに働くという、勤労観、職業観を身につけてもらうとともに、お父さん、お母さんの職場、そして働いている姿に接してもらおうとを目的としております。

この行事を通じて、社員の帰属意識が深まり、また子供って可愛いと素直に思ってくれることを期待して、来年も開催したいと思います。



data.....
○事業内容：建築設計・監理
○設立：1952年10月
○資本金：3,000万円
○代表者：代表取締役社長 原 勇次
○社員数：140名
○所在地：東京都品川区東五反田 1-2-33 日雄ビル

http://k-ito.jp/

特許業務法人 樹之下知的財産事務所



■開催日時／2012年8月18日(土)
■開催場所／樹之下知的財産事務所オフィス内
■参加人数／21名
家族が参加した従業員の数7名・大人(高校生以上)4名・小学生4名・小学生未満6名
■実施内容／参加従業員とご家族の紹介、各部署の仕事紹介を交えた所内スタンプラリーツアー、発明・特許ってなんだろう?～ミニチュア模型や身近な製品を使ったお話とDVD上映～、オリジナル名刺作りとパートナーとの名刺交換

【参加従業員】
家族に、同僚や上司を紹介することができてよかったです。家で事務所の話をした際に、イメージしやすくなったと思います。1回限りではなく、機会があればまた参加したいと思います。続けて参加することで、親の職場や仕事に対してより安心感を持って理解してもらえそうです。

【同僚】
普段あまり見ることもない、同僚の父母としての顔を見ることができました。今回、ご家族の顔がわかったので、雑談の中でご家族の話題が出た際により親しみを感じながら聞くことが出来ますし、コミュニケーション向上に繋がります。

【担当者】
知的財産という、特に子どもたちにとっては普段なじみのないものに関わる仕事をわかりやすく伝えるため、ミニチュア模型や生活に密着した発明品を使ってのお話や、スタンプラリーを楽しみながら各部署での仕事内容を紹介して巡る所内ツアーを企画。開催するまで不安もありましたが、参加したお子さんから「父の仕事内容がよくわかりました」とお礼の葉書を頂いたり、所員からご家族の喜びの声を伝え聞いて、「やってよかった」と実感しています。
また、ご家族を迎え入れた単独参加所員(上司や同僚)からも、開催したことの意義を評価する声が多く、事務所としての連帯感を高める意味でもとてもよい機会になったのではと思います。



data.....
○事業内容：特許事務所
○設立：1979年4月
○資本金：600万円
○代表者：代表社員 石崎 剛
○社員数：54名
○所在地：東京都杉並区荻窪 5-26-13 荻窪 TM ビル 3F

http://www.kinoshita-pat.co.jp/

株式会社 電通アドギア



■開催日時／2012年8月11日(土)
■開催場所／東京本社
■参加人数／80名
家族が参加した従業員の数27名・大人(高校生以上)31名・中学生1名・小学生9名・小学生未満12名
■実施内容／名刺交換、お父さんの仕事チェック、お父さんの席を探せ、会社案内ビデオ上映、アイス試食、隅田川水上バス、東京スカイツリーツアー

【参加従業員】
父親の職場に入る、名刺交換をする、アイスの試食をしながら会社案内ビデオを見る、スカイツリーに行く、交通手段として水上バスに乗る、全てが「最高」でした。この企画を継続し、社員およびその家族と交流を深めることが、皆が幸せに仕事が出来る環境作りにつながると実感しました。

【参加従業員】
日頃全く会話のない高校生の息子から「すばらしく感じのよい方々と同じ会社にいられてオヤジは幸せ者だ」と傳そうに言われましたが、大変嬉しく誇らしい気持ちになりました。

【担当者】
社屋移転から1年、子どもに父親の働く場所を見せてやりたいと思い計画しました。まず子ども向けイベントとしてオープンハウスを午前中に行い、午後からは、全社員が興味を持ち、参加したくなる「話題の場所に行こう」ということで「東京スカイツリーツアー」を実施しました。社員の子どもたちに、「お父さん、お母さんの勤めている会社ってユニークだね。」と言われる取り組みを今後も続けていきたいと思っています。



data.....
○事業内容：広告代理業
○設立：2002年3月
○資本金：2,000万円
○代表者：代表取締役社長 浅香 彰彦
○社員数：120名
○所在地：東京都中央区銀座 8-21-1 住友不動産汐留 浜離宮ビル (ほか)

http://www.dentsu-advgear.co.jp/

株式会社 ファースト・シンボリー



■開催日時／2012年8月20日(月)
■開催場所／東京本社
■参加人数／5名
家族が参加した従業員の数1名・大人(高校生以上)1名・小学生2名・小学生未満1名
■実施内容／自己紹介、名刺交換から始まり、職場体験として実際にパソコンを使ってデザイン制作をお手伝い、最後に記念撮影を行いました。

【参加従業員】
実際に子どもたちがパソコンに向かいデザイン制作業務を行ったり、デザインの本を見て勉強したりと盛りだくさんの内容でとてもいい職場体験になりました。特に小学校4年生の息子は興味津々でした。仕事への理解も深まったようterrい1日でした。

【同僚】
同僚の家族に会い、いつもと違う顔が見れたのがとても印象的でした。それぞれに家族があり生活があるのだと思い、今後益々仕事をがんばらなくてはと思いました。

【担当者】
同僚とのコミュニケーション、家族とのコミュニケーションを深める意味でも素敵な1日でした。子供たちに仕事を教えることにより、今後社員が増えたときの教育にも活かせるような気がします。今後是非、継続していきたいと思っています。



data.....
○事業内容：デザイン制作、ホームページ作成など、デザイン事業全般及び顧客管理分析、販促支援等コンサルティング事業
○設立：1980年8月
○資本金：1,000万円
○代表者：代表取締役社長 藍原 節文
○社員数：7名
○所在地：東京都中央区八丁堀 4-12-7 サニービル 7F

http://www.firstsymboly.com/

有限会社 グラフィック・メイト



■開催日時／2012年7月8日(日)
■開催場所／本社
■参加人数／10名
家族が参加した従業員の数3名・大人(高校生以上)3名・小学生1名・小学生未満3名
■実施内容／業務内容の説明のあとお父さんのための撮影レッスン。実際に我が子を撮影し、撮った写真を使って家族ごとにコラージュ作成。全員での会食では子どもの嗜好や食事の変化など育児情報の交換も。子どもたち同士も一緒に遊び、楽しい交流となった。

【参加従業員】
会社の業務内容にちなんでフォトコラージュという「ものづくり」でしたが、「ものづくり」は大人も子どもも楽しめるものだということを改めて実感しました。

子どもはまだ2歳ですがそれでも何か書いたり貼り付けたりするのが大好きです。夫もこういうことをする機会は日常では皆無だったのでいい程です。楽しめたようです。お互いの子どもとの成長も見られるので楽しみです。

【参加従業員】
去年も参加しました。同僚の子どもの成長が見られてよかったです。昨年同様、お互いの家族についての理解が深まったと思います。去年生まれた下の子を紹介するいい機会にもなりました。こういった家族参加のイベントが定期的に開催されるのはとても良いと思います。一緒に参加した子どもも楽しかったように、また来年も来たいと言っていました。持ち帰ったコラージュは家に飾っています。

【担当者】
社員全員が母親という会社なので、子どもの病気など、いざというときには夫たちの協力が不可欠です。昨年に引き続きファミリーデーを開催し、夫たちもお互いの家庭状況や職場状況をいっそう理解してくれたことと思います。今後も家庭と仕事の両立ができるよう、家族ぐるみで協力し合って働きやすい職場づくりをしていきたいと思っています。



data.....
○事業内容：グラフィックデザイン(パンフレット、社内報・広報誌、年史・記念誌などの企画・編集・制作・造本設計) Webデザイン
○設立：1967年5月
○資本金：300万円
○代表者：取締役社長 大里 早苗
○社員数：3名
○所在地：東京都港区六本木 7-5-11 カサグランデ・ミウ401

http://www.gmate.jp/

株式会社フィードフォース



■開催日時／2012年8月28日(火)
■開催場所／フィードフォース本社
■参加人数／9名
家族が参加した従業員の数4名・小学生4名・小学生未満1名
■実施内容／社員の出社と一緒に子どもたちも出社。社内探検のあと、手作りの紙芝居「フィードフォース物語」を通じて会社のことや仕事内容を紹介しました。子どもたちオリジナルの名刺を作ったり、パパ・ママへのメッセージを書いたり、最後に全員で記念撮影をして、その後家族ランチ会を開催しました。

【参加従業員】
子どもが喜んでおりました。子どもにはわかりにくい丁寧な仕事を丁寧で説明してもらえて、子供向けの企画が用意されていたので楽しめていたように思います。

【同僚】
子どもたちが普段働いている親の姿を見られることは良いことだと思います。いつも静かな社内ですが、明るく賑やかな雰囲気になり、子どもたちも楽しそうてよかったです。

【担当者】
「フィードフォース子ども会社会見学会」は去年に続いて2回目の開催でした。8月の夏休みの期間を利用して、社員の子どもたちに普段なかなか目にする機会のないお父さん・お母さんの会社やその働く姿を見に来てもらいました。子どもたちの元気な声、垣間見える社員のパパ・ママの顔、子どもたちに会社を知ってもらうのはもちろん、社員自身も子どもたちから得られるものがあつたりして、企画者の我ながら良いイベントだんと思っています。

フィードフォースは全体的に既婚者が多いので、来年は子どもたちはもちろん、社員の奥さんや旦那さんに来ていただくのも良いかもしれません。働いている環境を家族に知ってもらういながら、生活と仕事のバランスを考え、「働きやすさ」につなげていく良い機会になれば、と思います。



data.....
○事業内容：RSSフィード・メタデータを使ったマーケティングシステムの提供 RSSフィード・メタデータを使った広告システムの提供 デスクトップアプリケーションの提供 インターネット上でのマーケティングコンサルティング 自社メディアの企画・運営
○設立：1980年8月
○資本金：3,300万円
○代表者：代表取締役 塚田 耕司
○社員数：27名
○所在地：東京都文京区小石川 1-2-1 出光後楽園ビル 5F

http://www.feedforce.jp/

株式会社 メック・デザイン・ インターナショナル



■開催日時／2012年8月1日（水）
■開催場所／本社（MEC HOUSE）
■参加人数／41名
家族が参加した従業員の数 12名・大人（高校生以上）12名・小学生4名・小学生未満13名
■実施内容／名刺交換、懇親会（お菓子やジュース、かき氷など）、設立40周年記念の歴史などの映像視聴、社内コンペ受賞作品の展示、社員の顔写真と「一言」を掲示、オリジナルインテリアバースのぬり絵、集合写真撮影

【参加従業員】
初めて家族を連れ参加させていただきましたが、妻がとても喜んでおりました。より多くの社員・家族が毎年参加したくなるようなアイデアを来年度以降も期待しています。

【同僚】
家族が社員の職場や同僚を知る機会としてとても有効だと感じました。子供たちは父親、母親が働く姿を見ることで、休日在家にいる姿との違いに何か感じるものがあると思います。子供ができたらぜひ参加したいと思いました。

【担当者】
ファミリーデー開催3年目の今年は参加者が少なくなるかと不安でしたが、当初の予想を上回る多数の方に参加していただきました。今年のファミリーデーは、ご家族の方がよりお楽しみいただけるようにイベントを増やしました。その一つに社員の顔写真に本人たちが一言を添えて掲示するというものです。参加家族の方にはもちろん、ご家族が参加していない社員に対しても、それぞれの人となりを知ることができるイベントとなりました。家族の支えが働きやすい活力ある職場の基盤の一つであるため、家族内の信頼や職場内の理解を深めることができる日として、今後も継続していきたいと思いました。



data.....
○事業内容：インテリア設計、監理・施工等
○設 立：1972年3月10日
○資本金：1億円
○代表者：取締役社長 豊泉 正雄
○社員数：92名
○所在地：東京都中央区勝どき1-13-1
イヌイビル・カチドキ 7F

http://www.mecdesign.co.jp/

株式会社 ザ・キャピトルホテル東急



■開催日時／2011年8月17日（水）
■開催場所／当ホテル館内
■参加人数／24名
家族が参加した従業員の数 7名・大人（高校生以上）6名・中学生3名・小学生7名・小学生未満1名
■実施内容／会社概要説明、館内施設見学、バスタランチ、デザート作り体験

【同僚】
社員のご家族にお会いして、いつもと違った一面を見ることが出来、また普段の職場を体験していただくことが出来たので、大変有意義な1日でした。また、迎える側として家族に職場を見てもうにあたり、あらためて職場を考えるきっかけにもなったと思います。

【担当者】
私共のホテルは昨年10月にオープンし、今回初めてこの企画を催しました。調理体験を主なテーマとしましたが、会社概要の説明、館内の施設見学など、普段見ることのないホテルの裏側をご案内させて頂きました。ご家族の笑顔が見れたことが何よりも嬉しく、このイベントを通してご家族と職場との絆も深まったようです。また、社員が丸となって家族を迎える姿勢は、チームワーク作りの基盤作りに一役を担ったイベントだったと思います。



data.....
○事業内容：ホテル業
○設 立：2010年10月
○資本金：1,000万円
○代表者：総支配人 但馬 英俊
○社員数：300名
○所在地：東京都千代田区永田町2-10-3

http://www.capitolhoteltokyu.com/

ル・ボア株式会社 パティスリーイソザキ



■開催日時／2011年7月24日（日）
■開催場所／日本橋浜町本店
■参加人数／19名
家族が参加した従業員の数 5名・大人（高校生以上）4名・小学生8名・小学生未満2名
■実施内容／製造場所見学（実際に作る姿を近場で見る、大人は補助作業として体験）、質問、試食提供（包装前の完成したばかりの焼き菓子をおふだんに試食）、家族へ焼き菓子ギフトをお土産としてプレゼント

【参加従業員】
今回、私の妻と娘が職場見学に来ましたが、仕事をしている姿を身近で見える機会がほとんどないため、非常に喜んでいました。私もまた新鮮な気持ちで仕事に取り組むことが出来ました。また、普段気にかけていない部分に対しての質問があったり、人の目を気にしながらの仕事とても勉強になりました。大変貴重な時間になったと思います。

【参加従業員】
普段人に見られながら仕事をするのではないので、緊張はしましたが、みなさんのパティスリーに対する興味・関心の高さがうかがえたので、貴重な体験が出来ました。家族がいる先輩の見慣れない一面等が見ることが出来たのも良かったです。普段見ることできない一面を見たからこそ、親子の距離もより深まったのではないかと思います。今後もういった機会があると思います。

【担当者】
今年が初めてのファミリーデー実施となりました。ご家族の方に、一日中楽しんでいただけるよう、町会が開催している納涼大会と日を合わせて行いました。そのため浴衣姿での見学となりました。当日は普段見ることできない家族との交流を見ることが出来ました。子どもたちは一生懸命教える姿は、たましくもあり、温かくその場の雰囲気も和やかでした。当日は、家族・従業員ともに楽しめ、仕事への理解も深まったのではないかと感じました。



data.....
○事業内容：菓子食品の製造、販売／菓子、料理業に関するコンサルティング
○設 立：2006年8月
○資本金：900万円
○代表者：代表取締役 磯崎 賢博
○社員数：9名
○所在地：東京都中央区日本橋浜町3-3-1
トルナーレ日本橋浜町102

http://www.p-isozaki.jp/

株式会社ノバレーゼ



■開催日時／2012年8月21日（火）
■開催場所／本社
■参加人数／14名
家族が参加した従業員の数 6名・大人（高校生以上）2名・小学生1名・小学生未満5名
■ドレスショップでのウェディングドレス・タキシードの試着撮影会、本社オフィスでのオリジナル名刺交換会、自社運営レストランでの食事会

【参加従業員】
家族が会社を見て一緒に仕事をしている人々を知ることが出来たり、仕事に対する興味が持てると思うので、とても良い企画だと思います。子どもも大変喜んでいて、家庭で仕事の話をする機会が増えました。

【同僚】
子どもたちが一生懸命作ったオリジナル名刺を使った「名刺交換会」は、社員の方が盛り上がったほど、最後に担当者から「オリジナル名刺はお土産で持ち帰ってもらうので子どもに返してください」と指示があったときはとても残念でした。あまりにかわいい名刺だったので持ち帰りたいかったです。

【担当者】
社員の家族に当社事業への理解を深めてもらうことを目的に、オリジナルドレス・タキシードの試着撮影会や、自社運営レストランでの食事会を企画しました。

参加者の評判は上々でしたし、迎え入れた社員からも好意的な意見・感想が多かったため、相互理解を深めるために、今後もこのようなイベントを開催していきたいと考えています。



data.....
○事業内容：婚礼式場運営、婚礼衣裳店運営
○設 立：2000年11月
○資本金：6億882万5千円
○代表者：代表取締役 浅田 剛治
○社員数：481名
○所在地：東京都中央区銀座1-8-14
銀座 YOMIKOビル4F

http://www.novarese.co.jp/

株式会社ケイ・コネクト



■開催日時／2012年8月27日（月）
■開催場所／キッズランド府中保育園
■参加人数／8名
家族が参加した従業員の数 4名・大人（高校生以上）1名・中学生1名・小学生1名・小学生未満1名
■実施内容／社長、園長、先生方との挨拶、会社の紹介、記念撮影など行い、同僚や上司の仕事の手伝い、同僚等と昼食を共にし意見交換を行いました。

【参加従業員】
仕事中の母の姿は新鮮だったようです。共通の話題ができ、家庭での会話が楽しくなりました。

【同僚】
実際に会って、話をすることで親近感が生まれ、信頼関係がより深まったように思う。「いい家族がいて、いい仕事ができる」基本を感じた。

【担当者】
ファミリーデーの実施は今回が初めてですが、社員同士の家庭の背景を知ること、お互いが協力しあえる関係がより深まり、家族を大切にする職場の雰囲気づくりにつながりました。参加した子ども達は、普段経験することがない現場を体験して、貴重な機会となったようです。今後もファミリーデーを含め、ワーク・ライフ・バランス実現に向け、継続的に実施してまいります。



data.....
○事業内容：保育事業
○設 立：1998年11月
○資本金：1,000万円
○代表者：代表取締役社長 岡本 啓子
○社員数：27名
○所在地：東京都府中市吉住町2-1-1

http://www.kidslink.jp/kids-land-huchu

有限会社 すこやか



■開催日時／2012年8月6日（月）
■開催場所／すこやかホーム北砂他
■参加人数／12名
家族が参加した従業員の数 4名・大人（高校生以上）2名・中学生1名・小学生5名
■実施内容／オリエンテーション、施設内見学、所長より名札配付、朝の会で自己紹介、利用者さんとのふれあい【タオル体操に参加、浴後のドライヤーかけ体験、利用者さんと一緒に昼食、午後のレクリエーション（ミニコンサートに参加）、お茶出しのお手伝い、利用者さんのお見送り】、所長より参加証

【参加従業員】
◎自分の働いている姿を実際に子どもに見せるのは、とても理解しやすくなったので良かった。ママもたのしかった。と言ってくれたのは涙が出ました。
◎親として自分が働いている姿を見てあげること、子どもにとっても自分自身にとってもすごく大事な事だと思いました。家族の理解がある、仕事に対するやる気も出て来ると思います。

【同僚】
◎同僚のご家族と会うことができて、より一層親近感を持つことが出来ました。
◎お子さんが「楽しかった。また来たい。」「お母さんが大変なのがわかった。」等、色々な意見が聞けて、とても良い取り組みになりました。

【担当者】
一般の事務所と違い、日頃からボランティアさんの出入りや、職員家族も特に小さい子供さんが夏休みに来る等、設立当初より開放的な職場の雰囲気ではありましたが、今回は、期間を決めて担当の委員がお知らせのポスター作りから始め、各事業所でスケジュールを決め、皆ファミリーをお迎えする準備をしたことで、より相互の理解が深まり、「お互い様の精神」で以前に増して仕事がしやすくなったと思います。



data.....
○事業内容：東京都指定通所介護・居宅介護支援事業
○設 立：2002年1月
○資本金：1,500万円
○代表者：代表取締役 國澤 一男
○社員数：125名
○所在地：江東区北砂7-1-25-308

http://homepage2.nifty.com/sukoyakahome/index.html

社会福祉法人 倭林会



■開催日時／2012年8月1日（水）
■開催場所／成蹊園
■参加人数／21名
■実施内容／オリエンテーション、施設見学（名刺交換）、車いす体験、昼食の準備と下膳の手伝い、家族で昼食、おやつ作り、各家族の職場へ、まとめ、写真撮影

【参加従業員】

親の仕事を言葉だけでなく、実際に現場に来て体験することで、「こんな事なんだ」と理解したようになって。今後「今日は仕事なんだと伝えた時に、「お母さんの仕事は、あんな事をしているんだ」と、誇りに思ってくれるようになってほしいと思います。1日、このような機会を設けて頂き、施設長をはじめ、事務長、職員の皆様に感謝しています。ありがとうございました。

【代表者】

「家族の理解、支えがあったのはじめて安心して仕事が出来ますので、ファミリーデーを通じてご家族の仕事へのご理解を深めて頂けたら幸いです。

【担当者】

法人のビジョンである、「サービスの質の保障（クオリティ・アシュアランス）」と、「サービスの質を確保するサービスの質の向上（クオリティ・ブルーメント）」を追求していくには、職員の力が不可欠です。その職員には大切な家族があり、それぞれの職員のバックグラウンドを知ることによって相互理解が深まり、企業が前進していく、企業価値を高めていくために必要な結束力にもつながると思います。



data.....
○事業内容：福祉施設
○設 立：1998年4月
○資 本 金：一
○代 表 者：理事長 鈴木 史朗
○社 員 数：120名
○所 在 地：東京都青梅市今井1-521-1

株式会社 サン・プロンプト



■開催日時／2012年8月24日（金）
■開催場所／株式会社サン・プロンプト各施設
■参加人数／10名
家族が参加した従業員の数5名・大人（高校生以上）・小学生5名
■実施内容／会社についてのお話、各設備の見学、社長・社員との名刺交換、お子様の顔写真を使用した可変出力体験、ハンドワーク業務の体験、ミニゲーム、食事懇親会

【参加従業員】

○学校では体験出来ない経験をさせていただき、とても楽しい時間を過ごすことができて、とても満足しています。
○仕事を体験するだけでなく、一般常識（挨拶・マナーなど）も学べたように思います。
○子供たちが職場にいると、何やら明るい雰囲気になり、とても良かったです。

【代表者】

はじめての試みて少し戸惑いがありましたが、来年も是非参加したいと子供たちから声が上がっています。大成功でした。職場の雰囲気が和やかになり、暑い1日が爽やかな1日となり、気持ちの良い時間が過ごせました。

【担当者】

実際、実施すれば確実に会社、従業員、またその家族に残るものがあり、また、とても有意義なイベントだと思えました。単純に参加したお子様の笑顔や、「すごく楽しかった」「来年もまた来ます！」などの声が聞けただけで来年も実施したいと思いました。また、対応している社員の普段とは違う一面・人柄に触れることもできて、社員間のコミュニケーションの一助となったと思います。



data.....
○事業内容：ダイレクトメール作成等作業全般
○設 立：1989年2月
○資 本 金：1,000万円
○代 表 者：代表取締役社長 明石 和美
○社 員 数：45名
○所 在 地：本社（営業本部）杉並区高円寺北2-2-1 日番ビル4階

http://www.sunprompt.co.jp/

株式会社 エフ・エム・エンタープライズ



■開催日時／2012年7月25日（水）
■開催場所／オフィス内
■参加人数／3名
家族が参加した従業員の数1名・小学生1名・小学生未満1名
■実施内容／会社説明、社長との名刺交換、お仕事体験（コピー、書類まとめ）、懇親会（昼食）

【参加従業員】

家族が自分の仕事にとてもプラスのイメージを持つてくれるようになり、仕事のモチベーションが上がった。

【代表者】

ファミリーデーによって、従業員も含め改めて企業の役割や各々の組織における位置付け等、確認する場となりました。
子供達が参加してくれたことで従業員の責任と意識の向上に繋がったものと確信しております。

【担当者】

当社は少人数で女性が多い職場なので、子育て中の従業員の働き方を含め、会社全体にワークライフバランスの理解を深める良い機会になったと思います。
お仕事体験で普段の事務作業を子供達が楽しそうに取り組んでくれたことが意外で、「仕事をやる」ということを楽しく伝えられて良かったと思います。
今回がファミリーデー初実施で参加者も少人数でしたが、会社全体で協力し合い楽しい1日にする事ができたので、今後も色々な形で続けていきたいと思っています。



data.....
○事業内容：一般労働者人材派遣業、人事労務コンサルティング、アウトソーシング
○設 立：2002年8月
○資 本 金：2,070万円
○代 表 者：代表取締役 阿部 郁美
○社 員 数：20名
○所 在 地：東京都中央区日本橋蛸殻町2-3-8 寿ビル3階

http://www.fme-iandc.jp/

株式会社第一広栄社



■開催日時／2012年8月16日（木）
■開催場所／株式会社第一広栄社 本社
■参加人数／6名
家族が参加した従業員の数2名・大人（高校生以上）・小学生3名・小学生未満1名
■実施内容／①仕事紹介（お父さんの仕事を知ってもらおう！）②名刺交換参加家族の名刺を事前に作成し、社員と名刺交換をしながらご挨拶しました。③広告用写真のカメラマン体験自社の求人募集の広告用写真を撮影しました。④ランチ親睦会仕事中のお父さん、家庭でのお父さん等色々な話をしながら楽しい昼食会を行いました。

【参加従業員】

社会人になってから学ぶものを小学生のうちに体験させてもらいたい、よかったと思います。また、父親がどのような仕事をしているのか、身近に感じることができ勉強になったようです。自宅に帰ってから、自分や妻と再度名刺交換をし、家族団圓にもなりました。

【同僚】

お子さんと会い、お話しすることで、違う一面が見え、今まで以上に深い関係性が築けるきっかけになると思います。様子を見ていた他の社員も自然と笑顔が多くなり、社内がバツと明るい雰囲気になりました。お子さんから元気をもらいました！

【担当者】

初めての試みて、「ご家族の皆さんに仕事や会社についてご理解いただけるか、社員同士の交流は深まるのか、楽しんでもらえるか等不安もありましたが、当日は笑顔が絶えない有意義な時間を過ごすことができました。初めは緊張していたお子さんたちが、徐々に慣れてきて、大きな声で名刺交換をしたり、プロのカメラマンのように色々な角度から写真撮影したりと、みるみるうちに立派な社会人になっていく姿が微笑ましくもありました。
お子さんからパワーもいただき、想像以上の効果が得られたファミリーデーでした。



data.....
○事業内容：人総合人材組織サービス企業、人材採用のコンサルティング、採用アウトソーシング、求人メディア広告取扱、SP 広告・パンフレット・HP 企画制作
○設 立：1975年12月
○資 本 金：1,000万円
○代 表 者：代表取締役 平井 健一
○社 員 数：47名
○所 在 地：東京都渋谷区千駄ヶ谷3-37-5 ローズイング2F

http://www.daiichikoeisha.co.jp/

株式会社 ケーススタッフ



■開催日時／2012年8月31日（金）
■開催場所／株式会社 ケーススタッフ
■参加人数／4名
家族が参加した従業員の数2名・中学生1名・小学生1名
■実施内容／会社紹介、社員と名刺交換練習後に社長と名刺交換、パソコンを使用して簡単なデータ作成作業、最後に社員全員で記念撮影をしました。

【参加従業員】

まさか我が子と出社するとは考えもしなかったことで、朝からバタバタと準備をし、満員電車で息子と乗り込むのはとても新鮮な通感でした。名刺交換の際には、親である私の方が緊張してしまい、普段は緊張をしない息子にまで緊張が伝わってしまったように思いました。将来の息子が名刺交換する姿が重なり、なんだか嬉しい気持ちになりました。自分自身が幼い頃に感じていた「親父は一体なんの仕事しているのだろう」という疑問をもし息子が持っていたら、今日のイベントこそその疑問はすいぶん解決できたのではないかなと思います。中学3年生と多感な時期ですが、少しでも父親の仕事に関心を持つてくれたら嬉しいですね。

【同僚】

さすが現代っ子。パソコンも難なく起動させ、簡単な作業はあっという間に覚えてしまいました。今どきの子供はパソコンに慣れ親しんでいるのかと実感できました。実際にやっている作業の内容は分かりづらくないかなとあれこれ完成したものがプリントアウトして出てきた時の喜んだ顔はこの夏の良い思い出です。いつもの作業も普段より数倍の時間がかかったけど、とても良いものができた気がします。次はインターンシップでまた一緒に働けたら嬉しいな。

【担当者】

今回、初めてファミリーデーを実施しましたが、社員の家族にとって職場を見ることは普段出来ない貴重な体験だったように、お子様の嬉しいような表情がとても新鮮でした。今後も動きやすい職場環境作りと、会社と家族間の相互理解を深めるためのご家族も気軽に参加出来るイベントを開催してコミュニケーションの活性化を図りたいと思いました。



data.....
○事業内容：コンサルタント業
○設 立：1991年3月
○資 本 金：1,000万円
○代 表 者：代表取締役 角 弓弦
○社 員 数：7名
○所 在 地：東京都新宿区西新宿3-3-15

高橋工業株式会社



■開催日時／2012年8月3日（金）
■開催場所／会議室と各事務室
■参加人数／8名
家族が参加した従業員の数3名・大人（高校生以上）2名・中学生1名・小学生未満2名
■実施内容／趣旨説明、名刺交換、職場見学、昼食会、子供たちに職場・会議室を開放し自由に遊ばせる、お土産プレゼント

【参加従業員】

家族を通じ、上司や先輩方それぞれの人柄など仕事の時とは違った一面を見る事が出来た事が嬉しかったです。また、妻が「いつも暑い中大変だね」と言って、少し優しくなった事が個人的には一番意味のある一日であると感じました。

【同僚】

同僚の奥さんや子供と会うことで、より親近感を持つことが出来ました。企業単位では、ファミリーデーのようなイベントの発想、実施はなかなか難しかったと思いますが、東京都と当社が協力してイベントの推進をして下さったおかげで、いい機会が出来たと思っています。

【担当者】

社員の家族が参加したことにより、社員同士が普段の仕事の時とは違った一面を見る事が出来た事でコミュニケーションが深まりました。



data.....
○事業内容：ビルメンテナンス業
○設 立：1962年5月
○資 本 金：3,000万円
○代 表 者：代表取締役 高橋 正紀
○社 員 数：520名
○所 在 地：東京都文京区湯島 3-26-5

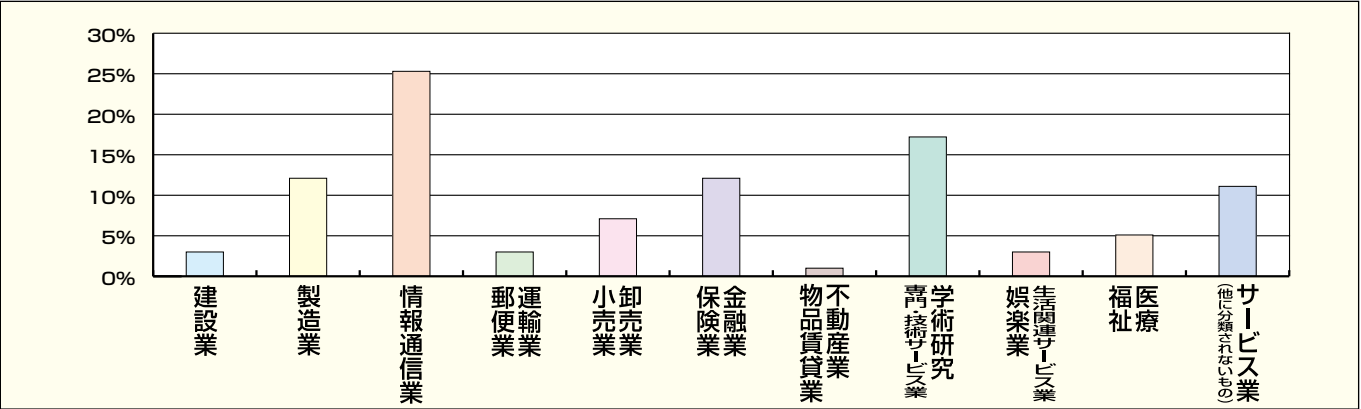
http://www.tkk-bm.co.jp

アンケート結果・データ集

■ファミリーデー実施アンケート調査対象

参加従業員：ファミリーデーに家族同伴で参加した従業員
同 僚：ファミリーデーにおいて他の従業員家族を迎え入れた従業員
代 表 者：ファミリーデー実施企業の代表者
担 当 者：ファミリーデー運営担当者

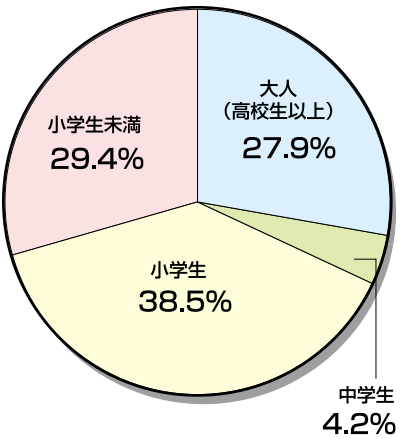
■平成 24 年度 ファミリーデー実施企業 99 社 業種・従業員数別集計



業 種	従業員数			計	構成比 (%)
	30 人以下	30～100 人	100 人以上		
建設業	1	0	2	3	3.0
製造業	1	3	8	12	12.1
情報通信業	3	7	15	25	25.3
運輸業、郵便業	0	2	1	3	3.0
卸売業、小売業	4	0	3	7	7.1
金融業、保険業	0	2	10	12	12.1
不動産業、物品賃貸業	0	0	1	1	1.0
学術研究、専門・技術サービス業	11	2	4	17	17.2
生活関連サービス業、娯楽業	1	1	1	3	3.0
医療、福祉	2	0	3	5	5.1
サービス業（他に分類されないもの）	5	4	2	11	11.1
計	28	21	50	99	100
構成比 (%)	28.3	21.2	50.5	—	100

■来社した家族の内訳

	大人 (高校生以上)	中学生	小学生	小学生未満	計
人数(人)	1,041	155	1,432	1,095	3,723
構成比(%)	27.9	4.2	38.5	29.4	100



data.....
○事業内容：会員カードの作成・販売
etc.、顧客創造支援業
○設 立：2001 年 3 月
○資 本 金：500 万円
○代 表 者：代表取締役 田所 裕
○社 員 数：6 名
○所 在 地：東京都文京区水道 2-6-3
文京 MM ビル 4F

http://www.priall.co.jp/



data.....
○事業内容：保育事業他
○設 立：2004 年 4 月
○資 本 金：一
○代 表 者：代表理事 駒崎 弘樹
○社 員 数：100 名
○所 在 地：東京都千代田区飯田橋 4-8-4

http://www.florence.or.jp/



data.....
○事業内容：機械土木工事、産業廃棄物
収集運搬
○設 立：1975 年 10 月
○資 本 金：2,500 万円
○代 表 者：代表取締役 武藤 登美子
○社 員 数：40 名
○所 在 地：東京都品川区北品川 2-27-8

http://misuzu-kogyo.flips.jp/

株式会社プリオール



■開催日時／2012 年 8 月 22 日（水）
■開催場所／本社
■参加人数／3 名
家族が参加した従業員の人数 1 名・小学生 1 名／小学生未満 1 名
■実施内容／子供会社体験会として、名刺交換会、社員証発行体験、事務作業協力など通常業務の体験を中心とした体験会を実施しました。

NPO 法人フローレンス



■開催日時／2012 年 8 月 22 日（水）
■開催場所／飯田橋オフィス
■参加人数／13 名
家族が参加した従業員の人数 6 名・小学生 6 名・小学生未満 1 名
■実施内容／環境整備（社内のお掃除）に参加、朝礼で自己紹介、名刺交換、ミーティング参加、創作活動、社内会議室にて昼食会、同僚・家族と交流

美鈴工業株式会社



■開催日時／2012 年 8 月 17 日（金）
■開催場所／本社事務所、現場
■参加人数／8 名
家族が参加した従業員の人数 2 名・大人（高校生以上）3 名・中学生 1 名・小学生未満 2 名
■実施内容／会社の紹介・仕事の説明、パソコン体験（子供達の架空会社の名刺作成、簡単な見積書作成）、営業体験（名刺交換・見積書提出）、現場体験（現場作業見学・ダンプ車に試乗）、昼食懇談会

【参加従業員】
もっと大人数で開催できるように仕事も頑張らなきゃいけないし、子供達からの目線で見た感想を聞いて、改善点も見付かるかもしれないので、ずっと続けていきたいと思いました。

【代表者】
平日の業務日の開催なので、どうしても年齢的に参加者が片寄ってしまう。幅広い層で開催してみたい！

【担当者】
今年で 3 回目となる会社体験会で、去年も体験している子供もいたり、初めての子がいたり過去よりも楽しいものとなりました。子供達と社員との交流が深まると共に、社員も明るくなり良いコミュニケーションになったと思います。
これからも毎年続けて、もっともっと大人数で実施できるように頑張りたいです。

【参加従業員】
名刺交換が楽しかったようです。名刺を作っていたきありがとございました。電話対応ひとつとってもどんな電話がくるのか、いつが忙しいのかなど、一段階踏みこんだ質問をしてくれました。
働くとはこういうことなんだな、親がこんなところで働いているのだなあと、子供達もなごらに感じてくれたように思います。更に仕事に対して応援してくれるようになりました。

【代表者】
私自身は小さい頃、母親の仕事について回り、母が働いている姿を身近に見てきました。小さいときに感じた「働くこと」へのイメージというのは、ゆくゆくは個人の職業観へと発展する非常に重要なものだと思います。子供もたちが家庭にいるのとは違うパパママの働く姿を見て、「大人になるのって、面白そう」という感想を持ってくれたのであれば、これほど嬉しいことはありません。

【担当者】
今回のように、働いている親の姿をリアルに体験するという機会は、子ども達が自分の未来、働く姿を想像する上でも、きつと役に立つのではないのでしょうか。また親にとっても、職場で仕事をしている姿を実際に見てもらうことで、子どもたちに、「働くパパママ」に対する理解を深めてもらえる良いきっかけになったようです。子どもたちに「ママのお仕事を応援する」「ぼくも大きくなったら一緒に働きたい」という前向きな感想を持ってもらえたことはとても嬉しい成果です。

【参加従業員】
日頃、仕事の内容については、あまり会話することがありませんでしたが、今後は家族で話し合うきっかけになりそうです。子供たちは貴重な体験として喜んでおりました。

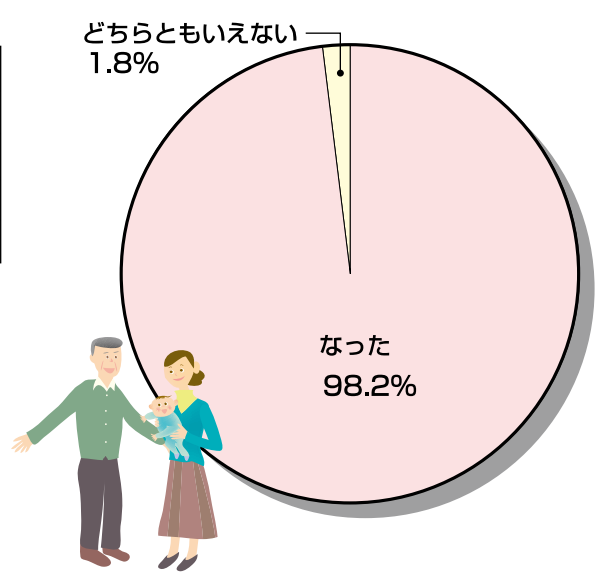
【代表者】
社員の家族が来社し、働いている職場、現場を見てもらうことで、連帯感が強まるものと確信しました。あまり接点のない家族と触れ合うことは大変意義のあることと感じました。

【担当者】
当社としては初めての実施でした。来社したご家族は初めは緊張しておりましたが、名刺作成の段階は、すっかり打ちとけておりました。改めて家族の絆が大切と再認識しました。

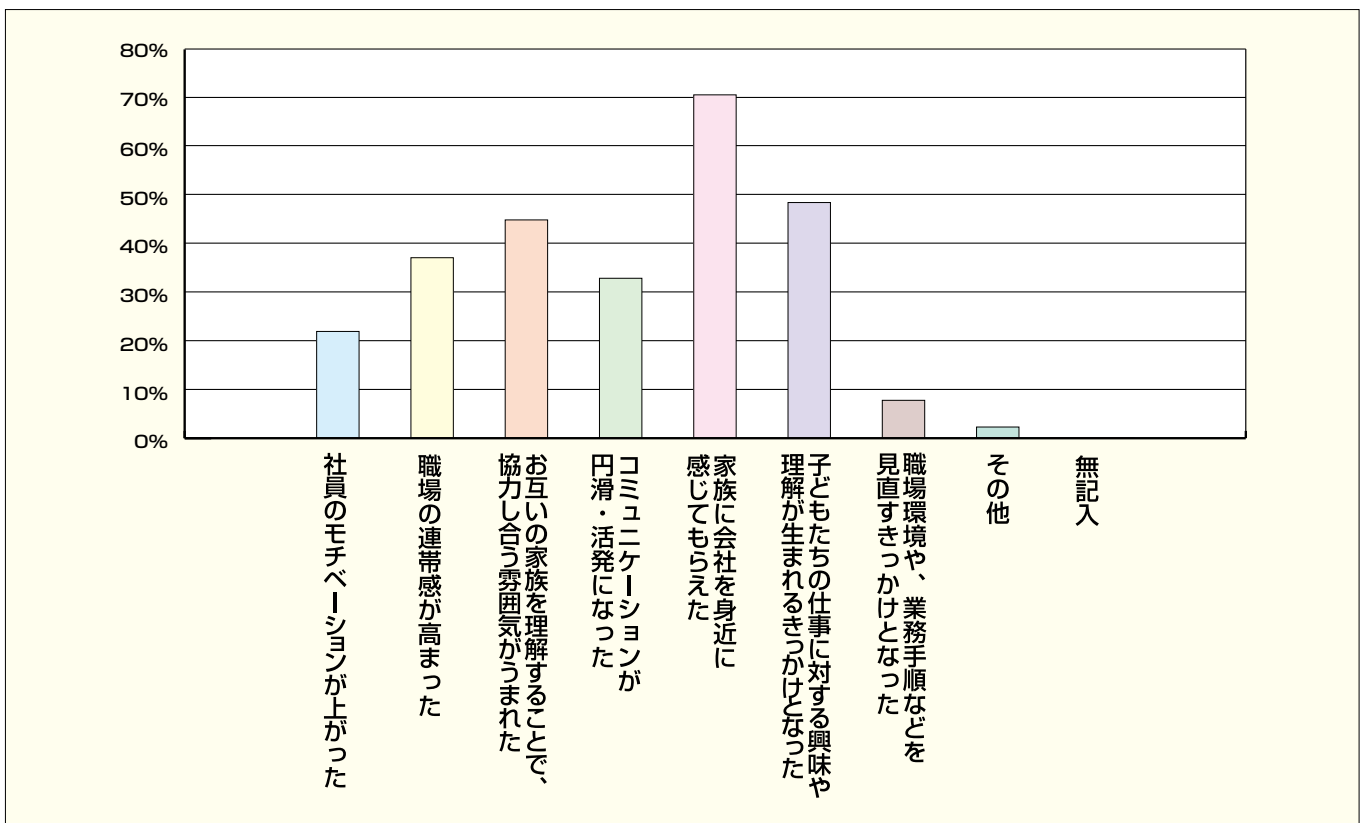
■4. 職場の同僚（部下）にも大事な家庭があるという事を再認識する機会となりましたか。（同僚・代表者のみ）

回答数：164

区 分	なった	どちらともいえない	ならなかった	無記入
同僚	93	3	0	0
代表者	68	0	0	0
計	161	3	0	0
構成比（%）	98.2	1.8	0.0	0.0



■5. ファミリーデーの取組にはどのような効果があったと思いますか。



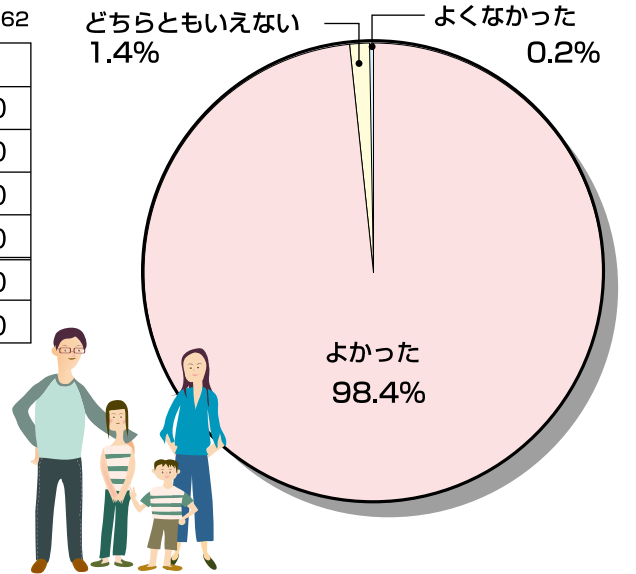
回答数：562 ※重複回答あり

区 分	社員のモチベーションが上がった	職場の連帯感が高まった	お互いの家族を理解することで、協力し合う雰囲気がうまれた	コミュニケーションが円滑・活発になった	家族に会社を身近に感じてもらった	子どもたちの仕事に対する興味や理解が生まれるきっかけとなった	職場環境や、業務手順などを見直すきっかけとなった	その他	無記入
参加従業員	50	89	111	86	233	158	13	8	0
同僚	17	38	52	39	47	37	10	2	0
代表者	27	36	37	23	51	32	10	1	0
担当者	29	45	53	36	65	44	11	2	0
計	123	208	253	184	396	271	44	13	0
構成比（%）	21.9	37.0	45.0	32.7	70.5	48.2	7.8	2.3	0.0

■1. 参加（実施）していかがでしたか。

回答数：562

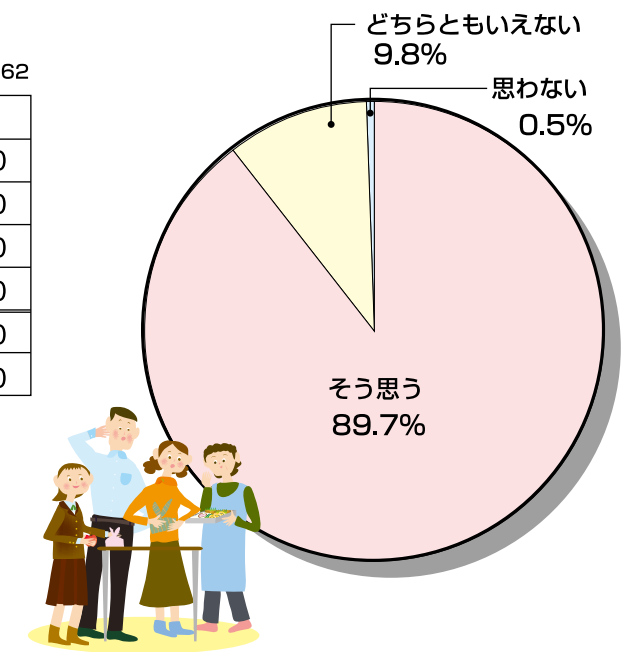
区 分	よかった	どちらともいえない	よくなかった	無記入
参加従業員	313	3	1	0
同僚	91	5	0	0
代表者	68	0	0	0
担当者	81	0	0	0
計	553	8	1	0
構成比（%）	98.4	1.4	0.2	0.0



■2. ファミリーデーの取組は働きやすい職場の雰囲気作りにつながるといいますか。

回答数：562

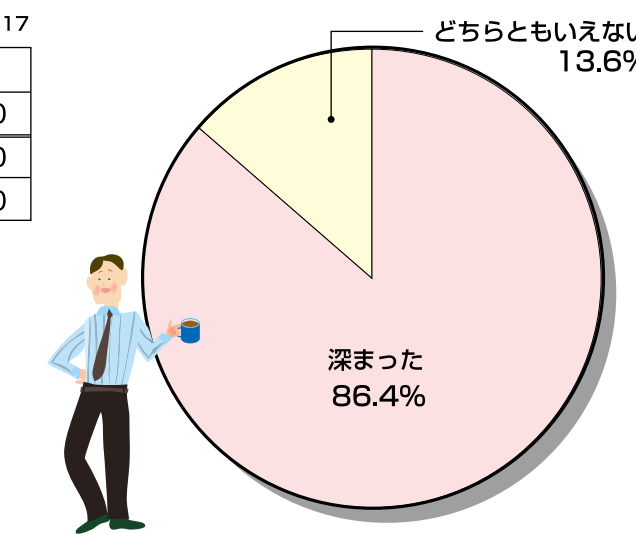
区 分	そう思う	どちらともいえない	思わない	無記入
参加従業員	277	40	0	0
同僚	81	12	3	0
代表者	66	2	0	0
担当者	80	1	0	0
計	504	55	3	0
構成比（%）	89.7	9.8	0.5	0.0



■3. 日々働く職場や仕事について家族の方の理解が深まりましたか。（参加従業員のみのみ）

回答数：317

区 分	深まった	どちらともいえない	無記入
参加従業員	274	43	0
計	274	43	0
構成比（%）	86.4	13.6	0.0



■8. ファミリーデーについての感想・意見（抜粋）

参加従業員

- 家族に仕事を紹介することと、家族を職場に紹介することの2つの意味で、想像以上の価値があったように思います。
- 家族が自分の仕事にとってもプラスのイメージを持ってくれるようになり、仕事へのモチベーションが上がりました。
- 若手に対して子育ての魅力を少しは伝えることが出来たのではないかと期待します。
- 家庭のなかでは、仕事の話はあまりすることはありませんでしたが、今回のようなイベントがあると、子供たちと気軽に会社の話ができるようになり、家族の絆が強まります。

同 僚

- 同僚の家族が職場に来る事で今まで以上に意思疎通、コミュニケーションが深まった気がします。常日頃こんな形で皆で頑張っているという事がわかってくれれば良いと思います。
- 家族を含めた同僚への理解はコミュニケーション向上、ひいては業務効率向上に結びついていると思います。
- 同僚について、普段とは違う「父親」「母親」「夫」「妻」といった側面を見て、一人ひとりが大切な家族を持ち、そのために日々、懸命に働いていることを改めて感じました。おそらく参加した同僚全員が感じたことと思われます。これを機に、よりいっそう、協力し合う風潮が生まれていく事でしょう。

代表者

- CEO として、社員の家族の幸福に貢献しなければならないと決意を新たにしました。
- この機会を頂けたことで、従業員も含め改めて企業の役割や各々の組織における位置付け等、確認する場となりました。子供達が参加してくれたことで従業員の責任と意識の向上に繋がったものと確信しております。
- 大変有意義な企画でした。社員と家族の相互理解は会社にとっても必要不可欠であると思います。

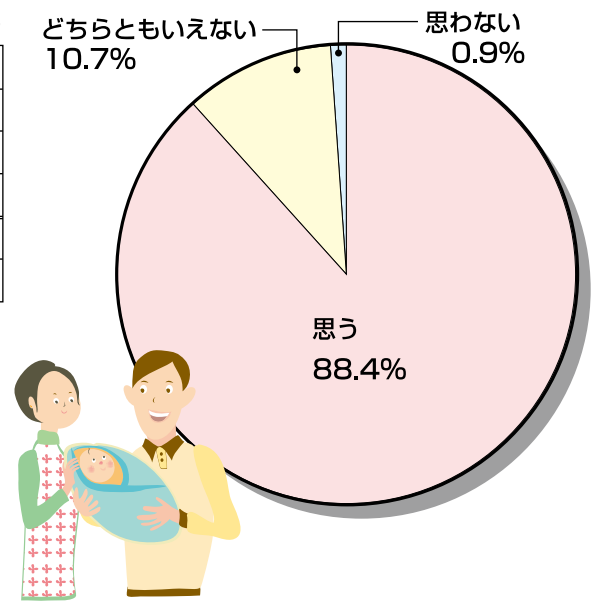
担当者

- ワークライフバランスを保ちながら仕事をすることが大切だとわかっていましたが、それはいわゆる文字でしかありませんでした。実際に、社員の家族と接したことによって、より強くワークライフバランスの大切さを実感することができました。
- 仕事内容の説明や、お仕事体験の準備などを通じて、日々の業務内容を見直す良い機会となりました。
- 安心して仕事を出来るのも家族の支えがあってのもの。家族に働いている職場を見てもらい、仕事への理解と協力が得られると思います。

■6. 来年もファミリーデーに参加（実施）しようと思いますか。（参加従業員、代表者、担当者のみ）

回答数：466

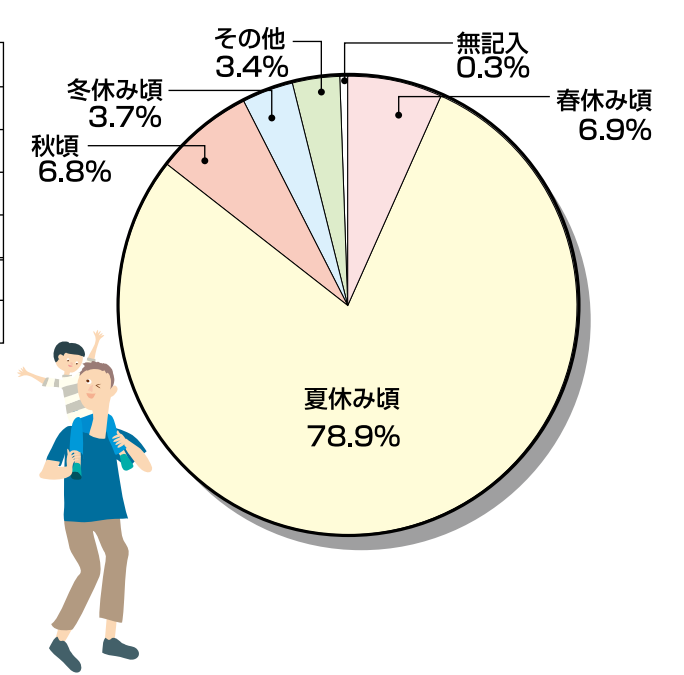
区 分	思う	どちらともいえない	思わない	無記入
参加従業員	272	41	4	0
代表者	65	3	0	0
担当者	75	6	0	0
計	412	50	4	0
構成比 (%)	88.4	10.7	0.9	0.0



■7. 実施時期はいつ頃が適当だと思いますか。

回答数：593（重複回答を含む）

区 分	春休み頃	夏休み頃	秋頃	冬休み頃	その他	無記入
参加従業員	25	249	31	11	13	1
同僚	5	85	5	6	1	1
代表者	6	57	2	1	3	0
担当者	5	77	2	4	3	0
計	41	468	40	22	20	2
構成比 (%)	6.9	78.9	6.8	3.7	3.4	0.3



- ◆その他の意見
- ・ いつでも
 - ・ 夏休み以外
 - ・ 学校、部活が休みの時期
 - ・ 学校、家庭行事が少ない時期
 - ・ 期末、中間などの試験期間を考慮してほしい
 - ・ お花見や敬老まつり、クリスマス等、イベントに合わせて

【生活関連サービス業、娯楽業】

- Garland
- 株式会社ノバレーゼ
- ヘアー&フェイス クリスタル（2 回実施）

【教育、学習支援業】

- パソコン教室コムネット
- 有限会社 松濤スクール・オブ・アーツ
- フロンティア株式会社
- 株式会社 リバネス

【医療、福祉】

- 有限会社アームズ
- 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント
- 特定非営利活動法人ケアサポーター・もやい
- 有限会社 ケア・プランニング
- 株式会社 ケィ・コネクト
- 有限会社 すこやか
- すずかけ
- デンタルクリニック J
- 株式会社トータルケアサービス加島
- ひらい整骨院グループ
- 社会福祉法人 倭林会（2 回実施）
- 社会福祉法人悠遊

【サービス業（他に分類されないもの）】

- 株式会社アスベイワーク
- 株式会社 イーウェル（2 回実施）
- 株式会社ウィルエージェンシー
- NPO 法人 ETIC.
- 株式会社エフ・エム・エンタープライズ
- 株式会社キャリアライズ
- 株式会社 ケープスタッフ
- コバック府中店・モドーリー府中店
- 株式会社 サン・プロンプト
- 株式会社 JP キャリアコンサルティング
- 株式会社シグマスタッフ
- 株式会社第一広栄社
- 高橋工業株式会社（3 回実施）
- 株式会社テックソリューション
- 特定非営利活動法人 難民支援協会
- 株式会社バソナグループ
- 株式会社プリオール
- NPO 法人フローレンス
- 美鈴工業株式会社
- 株式会社ワンダフルクリーン

- みずほ証券（2 回実施）
- みずほ信託銀行株式会社（2 回実施）
- みずほフィナンシャルグループ（2 回実施）
- 三井住友銀行（2 回実施）
- 三菱 UFJ 信託銀行株式会社（2 回実施）
- ライフネット生命保険株式会社（2 回実施）

【不動産業、物品賃貸業】

- 興銀リース株式会社
- ライオンズマンションの大京グループ（3 回実施）
- 株式会社武蔵野

【学術研究、専門・技術サービス業】

- 社会保険労務士法人 E E パートナース
- 株式会社伊藤喜三郎建築研究所
- 株式会社 F R A コンサルティング
- 株式会社オープンループ
- 特許業務法人 樹之下知の財産事務所
- ぎんざの杜法律事務所
- 有限会社 グラフィック・メイト（2 回実施）
- 黒川税理士事務所
- 株式会社 京王エージェンシー
- 株式会社古田土経営
- 仁智監査法人
- 総合探偵社密会バスターズ
- 株式会社 電通アドギア
- 東京エイチアール・マネジメント・ソリューションズ合同会社
- 東京共同会計事務所
- 有限会社トライブ
- 株式会社とらうべ
- 根本 C.P.A コンサルティング株式会社
- バシフィックコンサルタンツ株式会社
- 株式会社 ファースト・シンボリー
- 株式会社フィードフォース
- 有限会社 FISCO
- 株式会社プラグマ
- 株式会社メック・デザイン・インターナショナル
- 株式会社ラテックス・インターナショナル
- レイバーコンサルタント オフィスモロホシ
- 株式会社ワイズ・インフィニティ

【宿泊業、飲食サービス業】

- 銀座 萌黄亭
- ザ・キャピトルホテル東急
- ホテル パークサイド
- ル・ボア株式会社パティスリーインザキ

- 株式会社 テイルウィンドシステム
- 有限会社鐵五郎企画
- 日本マイクロソフト株式会社（2 回実施）
- ニホンモニター株式会社
- 日本ユニシス株式会社
- ネット・コンテンツデザイン株式会社
- 株式会社ネットラーニングホールディングス
- 株式会社パイロット
- 株式会社 ビアソン桐原
- 株式会社 B. B
- 株式会社ビジネス情報テクニカルシステムズ
- 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 株式会社ブイキューブ
- 株式会社 富士通ビー・エス・シー
- プロシーク
- 株式会社ボルテージ
- みずほ情報総研株式会社（3 回実施）

【運輸業、郵便業】

- 朝日航洋 株式会社
- 株式会社岩瀬運輸機工
- A N A（2 回実施）
- 小田急シティバス株式会社
- 三伸運輸有限会社
- 株式会社ジェイアール貨物・南関東ロジスティクス
- 府中自動車株式会社
- 株式会社 村山運輸

【卸売業、小売業】

- 株式会社アーティーズ
- イクシアコミュニケーションズ株式会社
- 1/f（えふぶんのいち）
- 国際紙バルブ商事株式会社
- 株式会社サービスセンター
- サノフィ・アベンティス株式会社
- ジュビターショップチャンネル株式会社（2 回実施）
- 株式会社スエヒロ
- スマイルレンタカー（2 回実施）
- 株式会社 たからや
- 協同組合多摩給食センター
- 築地倶楽部
- 東京トヨベット株式会社
- 株式会社ドール
- 株式会社 バスターズカンパニー
- 富士通テン東日本（2 回実施）
- 株式会社文祥堂
- 丸紅株式会社（3 回実施）
- 株式会社 メガネ・コンタクトの井上
- ヨガワークス
- 株式会社 佳池商会

【金融業、保険業】

- アクサ生命保険株式会社
- SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
- NKSJ ホールディングス株式会社
- 住友生命保険相互会社
- 株式会社損害保険ジャパン（2 回実施）
- 第一生命保険株式会社（2 回実施）
- 大和証券グループ
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- 日本興亜損害保険株式会社
- ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・インベストメント・サービス株式会社
- ブルデンシャル生命保険株式会社
- マスマチュアル生命保険株式会社
- 株式会社みずほ銀行（2 回実施）
- 株式会社みずほコーポレート銀行（2 回実施）

【建設業】

- 株式会社 小松工務店
- ジョンソンコントロールズ株式会社（2 回実施）
- 新日鐵エンジニアリング株式会社
- 株式会社寺島組
- 株式会社トップランダー（2 回実施）
- ニューロテック株式会社
- 株式会社松下産業

【製造業】

- 旭化成グループ（2 回実施）
- キャタピラージャパン株式会社
- 共同印刷株式会社
- 株式会社 資生堂（3 回実施）
- 清水化学工業株式会社
- ジャパンプリント株式会社（2 回実施）
- 株式会社白崎製作所
- 大和電業 株式会社
- タカラトミー
- 株式会社 タニタハウジングウェア（2 回実施）
- 株式会社電子制御国際
- 東京ブラインド工業株式会社
- ニッカー絵具 株式会社
- 日本電子株式会社
- ノバルティス ファーマ株式会社（2 回実施）
- 株式会社日立製作所中央研究所
- ヘンケルジャパン株式会社
- ヤマト通信工業 株式会社

【電気・ガス・熱供給・水道業】

- 東京電力株式会社

【情報通信業】

- 株式会社アーツエイハン
- 株式会社 I T 働楽研究所
- 株式会社 葵プロモーション
- AXESS
- 株式会社アクティア
- アリオン株式会社
- アルス株式会社
- 株式会社 ambloom
- 株式会社イー・コミュニケーションズ
- インターリンク株式会社
- 株式会社ウィルゲート
- A J S 株式会社
- エス・イー・エス株式会社
- N T T コミュニケーションズ株式会社
- 株式会社 エヌ・ティ・ティ・ドコモ（2 回実施）
- 株式会社オロ
- 学研グループ
- キャリア・mam（2 回実施）
- 株式会社クララオンライン
- 株式会社 クロスランゲージ
- 株式会社 ケンウッドエンジニアリング
- 恒和システム株式会社
- ジークス株式会社
- 株式会社 C 4 メディア
- 株式会社 J S O L
- 株式会社システムシンク
- 株式会社 主婦と生活社
- 松竹株式会社
- 株式会社スカイコム
- スターフリーストリサイクル株式会社（2 回実施）
- 株式会社セラフ
- 株式会社ゼンリンデータコム
- T I S 株式会社
- 株式会社テイクス

❖平成 22 ～ 24 年度実施企業データ

・累計実施企業数…………… 延べ 238 社

建設業……………	9 社
製造業……………	24 社
電気・ガス・熱供給・水道業……………	1 社
情報通信業……………	58 社
運輸業、郵便業……………	9 社
卸売業、小売業……………	26 社
金融業、保険業……………	30 社

不動産業、物品賃貸業……………	5 社
学術研究、専門・技術サービス業……………	28 社
宿泊業、飲食サービス業……………	4 社
生活関連サービス業、娯楽業……………	4 社
教育、学習支援業……………	4 社
医療、福祉……………	13 社
サービス業（他に分類されないもの）……………	23 社